



2013～2014年度 国際ロータリー第2620地区

職業奉仕活動 事例集

2013～2014年度 国際ロータリー第2620地区 職業奉仕委員会

2013~2014年度 国際ロータリー第2620地区

職業奉仕活動 事例集

国際ロータリー 第2620地区
2013～2014年度 ガバナー
志田 洪顯



「職業奉仕活動 事例集」の配布

地区職業奉仕セミナーの開催にあたりご挨拶を申し上げます。

国際ロータリーの一員には3つの義務があると申される方がいます。1に例会に出席すること。2にロータリーの友を購読すること。3に人頭負担金をはらうこと。そして奉仕の基本は職業奉仕にあると申されました。とは言え職業奉仕は難解とも噂されています。一度のセミナーで答えがでるものでもないことは承知していますが、まず勉強してみましょう。この点において今回のセミナーは貴重な機会だと感じます。

私が日ごろ考えている国際ロータリー組織での地区の役割とは、各クラブと国際ロータリーとの橋渡しをすること、地区内各クラブのサポート、活性化のお手伝いにあると考えています。地区委員会が指令をだすのではなく、皆様に材料を提供します。そしてクラブの代表の皆様に学んでいただいて、それを各クラブにお持ち帰りいただき会員の皆様にご披露願ひ、できることならばクラブ協議会、例会などで議論していただければ最高です。

今回2620地区の職業奉仕委員会は長橋委員長の指導のもとに事例集を編集しました。国際ロータリー手続要覧をはじめ各種資料に用語の意味説明はなされていますが、それを読んでもなかなかピンときません。読んでない方も多いことでしょう。それで身近な事例ならば応用できると考えた結果だと想像します。

どうぞこの資料をご活用いただくようお願い申し上げます。



国際ロータリー第2620地区
2013～2014年度 地区職業奉仕委員会
研修リーダー
牧田 静二

今般の企画について

私は、ロータリークラブは単なる社会奉仕等をするためのボランティア組織ではなく、職業奉仕の理念を掲げて職業倫理の高揚とその実践を目的とした母体であると考えている者のひとりです。ただ職業奉仕の実践ということはきわめて個人的な問題で、これをロータリーという団体で行うとなるとなかなか良い方法が見付からないが現実です。会員の多くがロータリーの職業奉仕はむずかしくて判りにくいと感じる原因だろうと思います。

今般、地区職業奉仕委員会はこの問題を取り上げて地区内の各クラブから職業奉仕活動の実践例の報告を求めることになりました。各クラブがどんな工夫をこらして活動に取り組んでいるか大変興味のあるところです。

もし、素晴らしい活動例があれば、それは今後のロータリー活動にとって貴重な情報になるのみで、その成果に期待しております。

国際ロータリー第2620地区
2013～2014年度 地区職業奉仕委員長
長橋 敬一郎



職業奉仕活動事例集発刊にあたって

昨年地区職業奉仕副委員長に任命され、金丸委員長の元、一年間勉強させていただきました。昨年の地区協で配布された資料の中に、甲府RCの高野本男パストガバナーが2011年10月号の「ロータリーの友」に投稿された「ロータリーのすすめ」～職業奉仕月間を迎えて～が掲載されていました。

末尾に高野氏は、日本のロータリーの再生・蘇生の道は「ロータリーの綱領(目的)」の本来の思いに立ち返り「職業奉仕」への理解と推進・実践を深めることに尽きると訴えておられました。又、推薦本として神守源一郎氏著「ロータリーでいう職業奉仕」をとり上げておられました。

今年度は地区の皆さまと共に「ロータリーでいう職業奉仕」への理解と推進・実践を深めたく、先に神守源一郎氏の本を各クラブに配布させていただきました。そして、この度各クラブの職業奉仕活動にさらにお役に立てればという事で、各クラブの職業奉仕活動の取組み方を紹介した事例集を作成し配布させていただくことに致しました。各クラブの皆さまにご理解、ご協力をいただき、事例集を発刊できますことを心より厚く御礼申し上げます。今後の各クラブの職業奉仕活動に少しでもお役に立てていただければ幸いです。

| | |
|----------|---|
| ガバナー挨拶 | 2 |
| 研修リーダー挨拶 | 3 |
| 委員長挨拶 | 4 |
| 職業奉仕の理念 | 6 |
| 4つのテスト | 7 |
| 4つの反省 | 8 |

目次

静岡第1~3分区

静岡第1分区

| | |
|------|----|
| 伊東 | 10 |
| 下田 | 11 |
| 熱海南 | 12 |
| 伊東西 | 13 |
| 網代多賀 | 14 |

静岡第2分区

| | |
|--------|----|
| 三島 | 15 |
| 伊豆中央 | 16 |
| 御殿場 | 17 |
| 三島西 | 18 |
| 裾野 | 19 |
| 長泉 | 20 |
| せせらぎ三島 | 21 |

静岡第3分区

| | |
|-------|----|
| 沼津 | 22 |
| 吉原 | 23 |
| 沼津北 | 24 |
| 富士 | 25 |
| 富士宮 | 26 |
| 沼津柿田川 | 27 |
| 富士宮西 | 28 |
| 新富士 | 29 |
| 沼津西 | 30 |

静岡第4~7分区

静岡第4分区

| | |
|-------|----|
| 清水 | 32 |
| 静岡東 | 33 |
| 清水北 | 34 |
| 静岡南 | 35 |
| 駿河 | 36 |
| 静岡日本平 | 37 |
| 清水西 | 38 |
| 静岡中央 | 39 |
| 清水中央 | 40 |

静岡第5分区

| | |
|-----|----|
| 静岡 | 41 |
| 焼津 | 42 |
| 島田 | 43 |
| 藤枝 | 44 |
| 静岡西 | 45 |
| 焼津南 | 46 |
| 榛南 | 47 |
| 静岡北 | 48 |
| 藤枝南 | 49 |

静岡第6分区

| | |
|--------|----|
| 浜松東 | 52 |
| 浜松南 | 53 |
| 磐田 | 54 |
| 浜松北 | 55 |
| 掛川 | 56 |
| 袋井 | 57 |
| 掛川グリーン | 58 |

静岡第7分区

| | |
|---------|----|
| 浜松 | 59 |
| 浜松西 | 60 |
| 浜松北 | 61 |
| 浜名湖 | 62 |
| 浜松中 | 63 |
| 浜北伎倍 | 64 |
| 浜松ハーモニー | 65 |
| パワー浜松 | 66 |

山梨第1~4分区

山梨第1分区

| | |
|-------|----|
| 甲府 | 68 |
| 石和 | 69 |
| 山梨 | 70 |
| 塩山 | 71 |
| 甲府東 | 72 |
| 甲府シティ | 73 |
| 甲斐 | 74 |

山梨第2分区

| | |
|-------|----|
| 甲府南 | 75 |
| 市川大門 | 76 |
| 南アルプス | 77 |
| 身延 | 78 |
| 甲府西 | 79 |

山梨第3分区

| | |
|---------|----|
| 甲府北 | 80 |
| 韮崎 | 81 |
| 北杜 | 82 |
| 山梨中央 | 83 |
| 甲斐シェイパー | 84 |
| 甲府城北 | 85 |

山梨第4分区

| | |
|-------|----|
| 富士吉田 | 86 |
| 大月 | 87 |
| 都留 | 88 |
| 河口湖 | 89 |
| 富士吉田西 | 90 |
| 山中湖 | 91 |

ロータリアンの職業宣言

事業または専門職務に携わるロータリアン、私には以下のごとく行動することが求められている。

1. 職業は奉仕の一つの機会であると考えること。
2. 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德基準に対し、名実ともに忠実であること。
3. 職業に品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理基準を推進するために全力を尽くすこと。
4. 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、公平であること。
5. 社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め、敬意を表すこと。
6. 自己の職業上の才能を捧げて、青少年に機会を開き、他社の特別なニーズに応え、地域社会の質を高めること。
7. 広告に際して、また自己の事業または専門職務について人々に伝える際には、正直を貫くこと。
8. 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしないこと。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

職業奉仕 四つの反省

1. 顧客に対して

最上の品質、最高のサービスを提供しているか
常に正直と親切を旨としているか

2. 従業員に対して

彼等の長所を十分に認めかつ買っているか
安全で快適な職場を確保しているか
苦情に対して公正な態度で対処しているか
自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか

3. 競争者に対して

公正な態度で接しているか
あなたは、行動をもって誠実を感銘させているか
彼等とともに事業水準の高揚につとめているか

4. 協力者に対して

公平でしかも友情にみちた関係を保っているか
いつも支払をよくしているか

静岡第1～3分区

伊東ロータリークラブ

委員長／加藤 好章

事務局／〒414-0028 伊東市銀座元町7-24

TEL 0557-38-5166 FAX 0557-38-5166

- ① クラブフォーラムにおいて、10月12日に行われる地区の職業奉仕委員会で行われる「新時代の職業奉仕を 考える」を報告します。
- ② 四つのテストの確認と徹底を今年は月初めの例会で歌います。
- ③ 親睦活動委員会と合同で職場見学を行います。
- ④ 例会卓話を通じ、会員への職業情報の提供に努める

事例1 2012年5月15日 職場見学

職業奉仕委員会と親睦活動委員会の合同の職場見学を世界文化遺産の候補地、鎌倉の史蹟を見物、雨の中を鶴岡八幡宮を参拝、こまち通りを散策、それから最近出来た辻堂のテラス・モールを見学、いろいろの出店された商店を参考にして、盛大に夕食会をしました。



事例2 2013年5月21日 職場見学



今年の職場見学は、毎日手にするお札(オサツ)を製造している国立印刷局小田原工場を見学。いかに日本のお札の印刷技術が優れているか実感しました。1億円の束(同じ大きさと重さ)を持つ事が出来、何か良い事があるかなと感じました。又近くにある二宮尊徳記念館と生家を見学しました。私利私欲に走るのではなく、社会に貢献すればいつか自らに還されるという「報徳思想」はロータリーの目指す「超我的奉仕」に相通するところがあると思います。



■ 下田ロータリークラブ

委員長／外岡 兼一

事務局／〒415-0302 賀茂郡南伊豆町上賀茂60-7
TEL 0558-62-7866 FAX 0558-62-7866

下田ロータリークラブでは奉仕プロジェクト委員会で職業を通して社会に貢献できるような活動を行っています。職場訪問例会として職場や施設の見学を行うことを年1回実施しています。異業種の職場を見学することで新たな見識を深め自身の職業を見つめ直す機会となるようにしています。

事例1 下田ロータリークラブ 職場訪問



2012年10月マックスバリュ下賀茂店を訪問させていただきました。以前の店舗が老朽化したため2012年7月に新たに建て替えられました。南伊豆町という地域柄、来店客層は高齢者が多いということで高齢者や障がいのある方が利用しやすいことをコンセプトに店作りをしているとのこと。背が低い高齢者が品物を手に取りやすいよう陳列棚を低く設定したり、独り暮らしの高齢者用に少量単位で購入できるよう配慮されていました。地域の実情に合わせた店作りをしていることがよくわかりました。

伊東西ロータリークラブ

委員長／飯島 崇宏

事務局／〒414-0027 伊東市竹の内1-3-16

TEL 0557-36-9823 FAX 0557-36-9823

ロータリークラブの職業奉仕という理念を事業を通じて、理解を深め実践していきます。ロータリークラブのメンバーは、その業界を代表する職業人であります。職業人が、事業の継続的な発展を願い、企業経営によって利益を得ることは必要です。しかし、人を欺いたり、不正な方法で利益を上げて長続きするはずはありません。職業奉仕の理念を認識するために、職場体験と職業奉仕フォーラムを開催します。

それとともに、例会で、四つのテストを唱和して、職業倫理についても理解し、実践していけるように努めていきます。

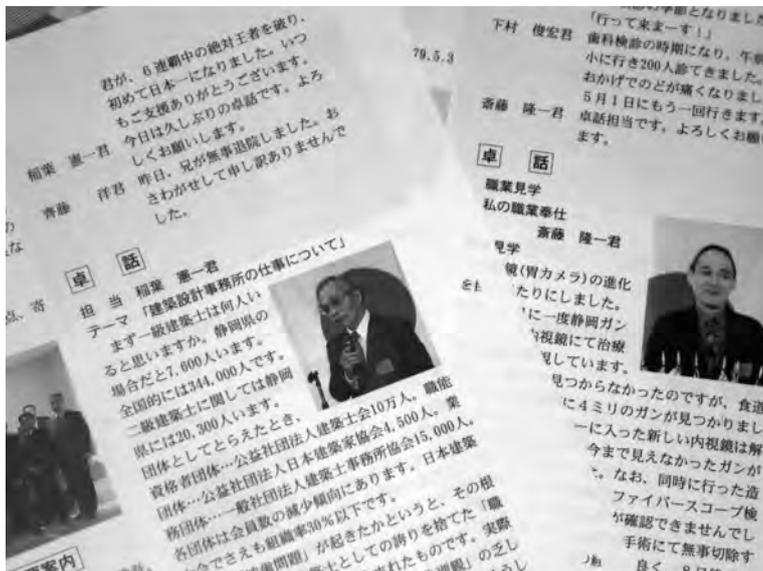
事例1 2009年5月22日 職場見学

早朝例会終了後の朝食を済ませ、会員旅行を兼ねてバスで職場見学に出発いたしました。東洋製缶静岡工場では、後藤弘明工場長(清水ロータリークラブのメンバー)より説明がありました。

そして、静岡工場の内部の案内をしていただきました。東洋製缶のこの工場では、プラスチックの材料で、私たちがスーパーマーケットやコンビニで購入するペットボトルを製造していました。国内でのシェアが一番というお話でした。詳しく、製造方法等を説明していただき参加したメンバーは、感激いたしました。



事例2 会員の卓話(職業奉仕の話)



2012年7月より2013年6月の年度の職業奉仕の事業において各メンバーに卓話で職業奉仕に関する話をするようにお願いしました。

印象に残った卓話を紹介いたします。最初に、建築設計の稲葉会員の卓話で、世間を騒がせた姉歯偽装事件が業界の信頼を失墜させた話は、倫理を守らないと個人ばかりではなく、業界自体の信用が失われるという話でありました。納豆製造の斎藤会員の話は、学校給食の納豆を供給する話で採算が合わないと業界の中では、敬遠されていましたが、公共性のある仕事と考え、やり始めて三十年になる。子供たちが納豆を食べて健やかに成長するよう祈っているなど、数々の卓話でロータリーのメンバーが職業を通じて貢献している実例を知ることができました。

■ 網代多賀ロータリークラブ

委員長／松尾 護

事務局／〒413-0101 熱海市上多賀1078-11

TEL 0557-87-1777 FAX 0557-87-1777

異なった職業を持つクラブ会員の能力を生かし、地域密着、少年育成のための体験学習を奉仕活動のテーマと、特に熱海地区からなくなりつつある農業分野の体験を通じて食の大切さを教えることを重点的に行っている。

事例1 古代米バケツ稲作体験

市内に50年以上水田が無く、食育の一環として稲作事業を奉仕活動のテーマとした。多賀小学校、網代小学校の児童にバケツを水田とした古代米の栽培体験を授業の一環として始めるようになった。

これまでに両学校の生徒約700名が稲作を体験し、収穫した古代米を給食の際に調理して食してもらっている。



事例2 キウイ、ミカン体験学習

網代小学校の理科授業として、会員の所有しているキウイ、ミカン畑を野外授業の場として開放し、ミカンの生育の苦労や収穫の喜びを教えている。同時にキウイの採集体験を楽しんでいる。



伊豆中央ロータリークラブ

委員長／福田 儀一

事務局／〒411-0858 三島市中央町4番9号 小野住環境中央町ビル2F
TEL 055-976-6351 FAX 055-976-6352

ロータリーの職業奉仕の目的は事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる事業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくこととされている。

伊豆中央ロータリークラブでは、会員が自分の職業に対して誇りと愛情を持ち、その経営には最大級の努力をばらひ、またその方針にはロータリー精神を最大限汲み入れ、企業の道徳的水準を高め、その職業を通して社会に奉仕するということを目標に、卓話での会員職業紹介や会員相互の職場訪問を実施し、また学校における職業人としての出前講座等を推進していく。

事例1 地域内高校における出前講座



2011年11月にIACを設立した伊豆総合高校は、教育目標の第1に、生徒の可能性を高めるために「多様な教育」を掲げている。我々伊豆中央ロータリークラブはその「多様な教育」という教育目標にさらにロータリーの奉仕の理念と国際性を付け加え、我が地域の将来を担う人材をより大きく育てることを目標として、メンバー等による、職業人としての話を中心とした出前講座を開催している。

事例2 会員の会社訪問および自身の職業紹介卓話

会員がどこでどんな事業を営み、どんな形で社会に貢献しているかを相互に知ることを目的として、会員の職場・事業所の見学、また例会での自身の職業紹介を実施している。

これにより、メンバー自身が自分の職業に誇りと愛情を持つと共に職業奉仕への理解と意識の向上を図り、また従業員等にもロータリーの職業奉仕の精神の理解と普及を期待する。



御殿場ロータリークラブ

委員長／長田 吉弘

事務局／〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052
TEL 0550-83-1133 FAX 0550-83-1138
URL <http://gotemba-rc.gr.jp>

職業奉仕は、ロータリーの原点で、ロータリー運動の根幹であり、自分という個人が自分の職業を通して地域社会に奉仕することが職業奉仕の最大の目的である。

- ① 会員による職業に関するスピーチと外部講師による卓話の企画及び実施
- ② 職業フォーラム及び職場訪問等の企画・実施
- ③ 四つのテストはロータリーの座右の銘であることから例会での唱和を行う

事例1 矢崎総業(株)職場訪問 環境・エネルギー問題と矢崎グループの取り組みについて

矢崎グループが、自動車機器分野・生活環境分野・新規事業分野における環境とエネルギーの取り組みとして行っているトナーカートリッジとガラスや紙のリサイクル事業、森林再生事業及び生活環境機器分野は各事業それぞれに適したものであり、会社として環境に対する真摯な姿勢を感じました。また、社員の生活の基礎となる社宅も環境そして周囲に配慮されていて、50年後に景色を里山に戻すための植栽等、未来を見据えた会社としての環境への取り組みは、未来を担っていく子供たちに対して今私たちがしていかなければならないこと、繋いでいかなければならないことなのだと改めて思いました。



事例2 アサヒビール株式会社 神奈川工場職場訪問



環境に配慮された工場の敷地内には「物産館あしがらの里」があり、地域の特産品を直販することで、工場見学やビール園に訪れた方々に対しての地元地域のPRや、ビール園のパンフレットに分かりやすく記載された南足柄市、小田原・箱根及び静岡小山町周辺観光施設の紹介やアクセス方法から、工場周辺の地域活性化に対する取り組みを知ることができました。またビール1本につき1円の環境保全に対する寄付は、世界文化遺産登録となった富士山の環境保全に役立っており、周辺環境に対する配慮はもちろんのこと、企業としていかに周辺地域の活性化に寄与していくか考えていくことの必要性を改めて感じました。

三島西ロータリークラブ

委員長／伊丹 秀之

事務局／〒411-0858 三島市中央町4番9号 小野住環中央町ビル2F
TEL 0559-976-6351 FAX 0559-976-6352

(基本方針)

- ① 職業奉仕はロータリー活動の根幹に値するものであるロータリアン1人1人自らが「職業奉仕理念」を理解し実践的な活動に適用し活発な活動推進を図ります
- ② 国際化時代を見据えた産業や職業に広い見識と理解を示してまいります

(活動計画)

- ① 会員相互の親睦を図り職業に対する理解を推進する
- ② 職業奉仕の理念について会員相互において勉強する
- ③ 職業見学を実施いたします

事例1 柿田川野菜

天候、害虫、価格、食品の安全・安定供給等、野菜の状況には残念ながら不安要素がいっぱいあります。この様な問題を解決して先進農業技術を取り入れた野菜工場を見学した、太陽光発電システムとLED作業場内のエネルギーは環境にやさしい地球にやさしいシステムを導入している。

野菜の栽培用光源は、太陽光発電である。又一年中一定の水温を保つ地下水の特長を生かした「地下水熱クーラー」を日本で初めて野菜工場に導入、地球環境の力を最大限に活用している。

主要生産品目

レタス・グリーンリーフ・バジル等



事例2 谷田木材



木材は太古の昔から人間にとって最もなじみ深い材料で建築、用具、家具など様々な形で私達の生活の中に多く使われております。

木材は私達人類に木のやさしさ、木の温かさ、そしてやさしい環境を与えております。谷田木材様見学し木の性質、特徴を勉強させていただき、木は伐採後も生きていて、それぞれの性質や特長があり、使い方にも適材適所がある事を再認識致しました。

長泉ロータリークラブ

委員長／西原 重夫

事務局／〒411-0941 駿東郡長泉町上土狩346-1 米山記念館内

TEL 055-988-3070 FAX 055-988-3070

URL <http://www.nagaizumi.com>

2013-2014年度のテーマである「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」基本に、会員ならびに地元企業への職場訪問・勉強会を通じ専門職業人としてのネットワークづくりを行い、クラブ会員が地元の専門職業人と会い、ロータリー活動を紹介できる機会を設けたい。また会員ひとりひとりひとりが、自分の職業を通じての地元への奉仕プログラムを立案し実践したい。

事例1 ワンガヌイの子ども達、初ガンダムに感激

2013年5月、ニュージーランドのワンガヌイ市より中学生5名とワンガヌイRCの引率者1名が10日間の日程で長泉町を訪問しました。これはワンガヌイRCと長泉RC双方が当クラブ会員であった故中村友信会員の意志をついで行った事業で、滞在中は町内の学校に通ったり、会員の職場訪問や当クラブ例会時の座禅体験をしたりしました。その中でも米山会員の会社見学は生徒たちにとって貴重な経験でした。

大人サイズのガンダム模型で、皆歓声を上げて動かしたり記念写真を撮りました。

工場の中でプラスチック原料からプラモデル製品ができるまでの工程を見学し、最後に全員プラモデルのお土産をプレゼントしてもらい大喜びでした。



事例2 「歯とお口を大切に」長泉町出前健康講座



「8020運動」(80歳になっても20本の歯を保ち、美味しく食事ができ元気な生活を送ろう)の国民への浸透とともに、「歯と口の健康」は毎日の充実した生活を送るために欠かせないものです。平成22年9月に長泉町納米里区の依頼を受け、当クラブの吉田会員(歯科医師)が「歯周病について」という演題で出前健康講座を行いました。当日は50名の熱心な区民の方に聴講していただき、歯周病予防の大切さを学んでいただきました。

せせらぎ三島ロータリークラブ

委員長／山田 定男

事務局／〒411-0858 三島市中央町4番9号 小野住環境中央町ビル2F

TEL 055-976-6351 FAX 055-976-6352

URL <http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp/>

各会員がロータリーの理念に基づき、職業奉仕を実行しその事業の拡大をもって社会に貢献する事

事例1 中学職場体験学習反省会の臨時講師

過年、当クラブの事業ですが各中学校2年生教育プログラムに職場体験学習2日間の学習があります。その反省授業の際に職業人(ロータリー)としての考え方等を生徒に教えるべく臨時講師として授業に参加しました。



事例2 当クラブ全会員35名の職業紹介(年間)

—昨年、当クラブ会長のもと、職業奉仕委員会で毎週例会時に当クラブ全会員の職業紹介を行いました。一例会1名の紹介です。20分～30分を掛け会員職業を詳細に会員に会長が話をしました。

当クラブでは、各メンバー互いに理解が深まり、相互扶助の精神が高められ、すばらしいせせらぎ三島ロータリークラブになりました。

会長挨拶

会長 渡邊照芳君

今日は、田中錦城君の職業紹介をさせていただきます。田中君は、(株)ケイネットの代表取締役で、コンピュータの機種販売・ソフト開発・ソフトバンクの携帯・スマートフォン販売等を行っております。



この仕事を始めたきっかけは、大学を卒業後地元の大手電産メーカーの明電舎に勤め総務課に配属されたが、上司からおまえは口が良く回るからと営業部に回されたそうです。その営業部で、当時出始めのNECのパソコン980を売りに歩いたそうです。7年明電舎に勤めたが、会社の上司の考え方についていけず会社をやめ、平成5年今の会社を設立したそうです。「ケイネット」とは、名前の錦城のケイのネットワークの略だそうです。勢いで明電舎をやめ会社を起しましたが、当時お客様は、どのような会社か解ってもらえず相手にされず自分の給料も出ない状態が半年位続いたそうです。その時に昔つきあっていたソフトバンクの仲間が助けてくれ、その仲間とは今も仕事で続いておりその仲間は、いまではソフトバンクの役員として活躍している事が非常にうれしいと言っておりました。

又仕事で悩んでいた時に長岡のある寺の安寿さんのお話を聞いたときそのお話の中に夜お寺へ行くのに真っ暗闇の中手探りで歩きながら、獣の声などで恐怖で震えながらお寺につくと、お寺から見る街の灯りや、空に輝く星に感激すると言う話を聞いた時、仕事も自分を信じてやっていく事が、つらい事を乗り越えられる事だと思ったと言っておりました。

今年で会社を起して20年になりますが、これからは「地域に密着して生き、活かされる様な企業」になっていきたい、そして、今の通信・通信に対して高い料金から安い料金、利便性の良い通信システムへの変更を地域へ伝えていきたいと言っておりました。

そして、今はまっているゴルフで今年中に80を切って、土屋巧さんとスクラッチで回りたいと言っておりました。

私も初めて、田中君の事務所にお伺いさせていただきました。事務所に入るなり仕事の中の社員の方々が、直立不動で迎えてくれ感激しました。社長の社員教育が行き届いているのを感じました。

今、花形の通信産業です。田中君の人脈の広さで、これからも活躍される事を期待いたします。

沼津ロータリークラブ

委員長／實石 学

事務局／〒410-0881 沼津市八幡町15 ビレッジ35 303号
TEL 055-963-0515 FAX 055-963-5202
URL <http://www.numazu-rc.gr.jp>

沼津ロータリークラブではロンD.バートンRI会長のテーマに込められた素晴らしいロータリー観を我がクラブも尊重しつつ、当クラブは別に「ロータリーの原点「職業奉仕」の理解と実践を深めよう」というテーマを設定しました。職業奉仕はロータリーの原点であり、その理解なくしてはロータリアンたり得ないという強い信念を持っているからであります。職業奉仕の理念の理解をさらに深め、日々社会活動の中で実践を深めていけるよう職業奉仕委員会は活動をしていきます。

事例1 2010年10月20日 職場見学研修会

今回の職場見学研修は職業奉仕委員会と社会奉仕委員会の共催で東京の日本銀行本店の見学に行きました。国の重要文化財に指定されている日本銀行本店では、旧地下金庫、旧営業場、日本銀行関連の様々な資料を展示した資料展示室などを見学し、又日本銀行の概要や仕事内容、金融関係の講義、貨幣の歴史などについても研修をし、参加した会員皆改めて日本銀行についての理解を深めることとなりとても有意義な研修でした。

当日は皇居の見学も含まれており普段外からだけの皇居を内部から見る事が出来、又その日は美智子皇后の誕生日で皇族や各界の著名人が挨拶にお見えになるところに出くわし貴重な体験をしました。



事例2 2013年4月24日 職場見学研修会



この日の職場見学は親睦委員会との共催で横浜の森永製菓鶴見工場と麒麟横浜工場の見学をしました。森永製菓ではチョコレートの製造過程や管理工程を見学しお菓子づくりの現場から「ものづくり」を学ぶことが出来ました。

麒麟横浜工場でもビールの製造工程(原料、仕込み、発酵・貯蔵、ろ過、パッケージング)を研修し、目にもとまらない速さで缶ビールが作られるところをまじかに見る事が出来、皆驚きを隠せませんでした。見学の後には出来たての生ビールを頂きいい気持ちで帰路につきました。普段食べたり飲んだりしている「もの」について再考することが出来た研修でした。

吉原ロータリークラブ

委員長／杉山 隆正

事務局／〒417-0046 富士市青島200-1 ホワイトパレス内
TEL 0545-51-0678 FAX 0545-53-1673

2013～2014RIテーマ「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」を基本とし、金子会長のクラブ方針に基づき、ロータリー活動の根幹である職業奉仕の理念を各事業を通して会員全体でより深く理解する。

事例1

当クラブは、会員相互の職業理解のため、会員の事業所の見学、および、職業奉仕を広く理解するため地域外の事業所、工場、施設等の見学を行っております。

この3年間の職場見学は、次の通りです。

平成22年度

- 平成22年11月17日 築地場外市場 出席30名
- 平成23年2月10日 NTT沼津(会員企業) 出席23名

平成23年度

- 平成23年10月7日 横須賀海上自衛隊、南極観測船しらす 出席21名

平成24年度

- 平成24年10月7日 東京スカイツリー 出席21名



沼津北ロータリークラブ

委員長／木村 智昭

事務局／〒410-0801 沼津市大手町1-2-1 フォーラム壹番館4F

TEL 055-963-1960 FAX 055-963-1970

URL <http://nnrc.e47.jp/>

沼津北ロータリークラブは創立53年となる沼津市で2番目に歴史のあるクラブです。ロータリーの主目的である「職業奉仕」については主として二つの活動をしています。一つは「職業奉仕」に関する卓話を会員や外部講師にお願いしております。もう一つは会員や近隣の企業の職場見学を実施し、職業を通じて社会にいかに関与していくかを研鑽しております。下記に最近実施した会員企業の職場見学を紹介いたします。

事例1 2012年10月23日 (株)イズラシ沼津新工場見学



会員企業の(株)イズラシが沼津インターの南に新工場を建設したので職場見学しました。インターの近くなので物流に適した工場です。イズラシは伊豆の戸田に主力工場があるネジの製造会社です。主要ユーザーは自動車メーカーですので、この新工場ですべての最終検査をして出荷となります。新工場は物の流れを考慮したすばらしい現代感覚あふれた新工場でした。また、新社屋の敷地内に「アイシック健身塾」というトレーニングジムを併設してあります。東大の小林寛道名誉教授が独自に考案されたトレーニングマシンがあり、地域のあらゆる世代の健康増進に貢献しています。皆で試してみましたが、いつもと違う体幹が鍛えられるすばらしい設備でした。

事例2 2011年10月4日 (株)木村鋳造所本社工場見学

この日は会員企業である(株)木村鋳造所の本社工場を職場見学しました。食事をとりながら会社案内DVDを観て、30分の工場見学でした。この工場は沼津北ロータリークラブが設立された同時期(53年前)に操業を始めたというかなり歴史のある工場です。ただ、仕事の内容は、鋳造業の中でもフルモールド法という革新的な工法や、デジタルを駆使した模型制作は今の時代にマッチした製造方法でした。また、世界最先端の3Dプリンターによる非常に複雑な砂型造型にもチャレンジしている工場でした。鋳物業は昔からある職業ですが、この会社は常に新しい技術を取り入れているところが大変勉強になりました。



富士ロータリークラブ

委員長／瀬尾 究

事務局／〒416-0913 富士市平垣本町8-1

TEL 0545-61-0360 FAX 0545-61-8564

本年度は社会福祉法人芙蓉会、児童養護施設"ひまわり園"(4歳～18歳)を見学、福祉の実態を理解する。園児達が会員の企業を見学することで自己の職業意識の向上を試みる。

事例1 静岡市営日本平動物園

参加者18名。静岡市動物園協会ボランティアの協力を頂き、近年新設の猛獣舎をはじめ、白熊「ロッキー」やあざらしの行動展示等約2時間にわたり人気の秘密の説明を受けた。参加者一同童心にかえり大いに親睦を深めました。



事例2 静岡ガスエネルギーショールーム富士



参加者22名。静岡ガスエネルギーファーム・スマートハウスの説明、ショールーム館内の見学と実演コーナーでクッキングショーと一口試食会等約1時間の研修でした。クッキングショーでは便利な温度調節機能やタイマー機能のある最新のガスコンロを使って安全で簡単な料理の体験が出来た。



富士宮ロータリークラブ

委員長／黒松 健太郎

事務局／〒418-0076 富士宮市錦町7-8 CRYSTAL HALLパテオン内
TEL 0544-22-3281 FAX 0544-22-3281
URL <http://www.fujinomiya-rc.gr.jp>

ロータリークラブの奉仕の原点は職業奉仕にある。それはロータリー設立の時のポール・ハリスの言葉からもうかがえる。すべての職業には社会に対する有益な理念があり、使命がある。ロータリアンは職業で社会に貢献することを強く要求される。

それは職業を奉仕まで高める、すなわち生き方のレベルまで意識を向上させることにより成り立つことではないかと思う。

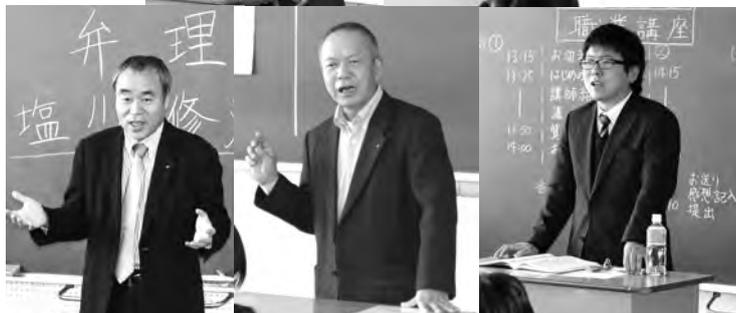
事例1 2013年2月7日 中学1年生に対する職業講座の卓話の実施

平成25年2月7日(木)富士宮市立第3中学校1年生を対象に、職業講座の卓話の実施を行った。

目的は生徒に①自己の能力・適正なあった進路計画を実現しようとする態度を養ってもらう為と、②働く現場から直接話をする事で、さまざまな職業について理解と関心を深めて貰うため。

卓話の内容は①職業を決定した理由やきっかけ②中学時代に心がけたこと③今後の人生について何が必要か④社会人としてのアドバイスなど

参加した会員の職業は①弁理士②不動産業③福祉関係④健康食品製造などさまざま



事例2 例会時での会員による会員の為の職業卓話

会員の職業を通じてキャリア教育をする際に、伝えたい事項の骨子をわかりやすく卓話していただくことを可能にするべく、会員の子供や孫達に対して語る「あなたの事業・会社を継承させる。」ことの意義や存在感を通して、夢を語り前向きな考え方を披露していただく。

このことを行うことにより会員が会員自身の事業に関して、再考察し、再構築に繋がることを期待し、例会における異業種交流に結び付けるために実施した。



沼津柿田川ロータリークラブ

委員長／太田 昭二

事務局／〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
URL <http://www.rcj-nk.org/>

自分の職業に職業人としての責任と誇りを持ち、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を目的として事業を行うことに務めなければなりません。その意識を持ってもらう為に、月1回ロータリーソングとして「四つのテスト」を斉唱します。この四つのテストを頭に入れて、毎日生活していただきたい。各事業所に四つのテストを掲げ、職業奉仕の理念を従業員・同業者・地域の一般業者に向けて普及させる責任を保つことを基本方針とします。

事例1 2009年2月26日 模擬裁判

2月26日の午前10時35分～午後12時25分迄の間、清水町立清水中学校の3年4組の生徒達に対して、3時間目と4時間目の授業を使って模擬裁判の授業をさせて頂きました。この授業には学校の先生が1人、ロータリアンの弁護士を含めた弁護士が7人、ロータリアンが4名参加しました。題材は童話の3匹の子豚の末っ子の子豚がオオカミを殺してしまった事について、殺人罪が成立するかどうかを検討するものです。5人ないし6人のグループに分かれて議論してもらい、結論を出しました。この授業の様子は、第一テレビの夕方のニュースで放映されました。議論の時間を延長した為に、結論について意見を聞いたり、検討する時間が足りなくなったのが残念でした。



事例2 2011年10月17日 職場見学



10月17日、沼津北ロータリークラブ会員の石川征雄様の会社で柿田川野菜の「ミツイシ野菜工房」を職場見学しました。「ミツイシ野菜工房」は、駿東郡清水町卸団地180にあり、野菜直売所も兼ねており、ホームページにはレシピも掲載されています。代表取締役の石川征雄様の経営への熱い思いをお話頂きました。昼食には工場内で作られた採れたての野菜を頂きました。柔らかくて瑞々しく、色も綺麗でとても美味でした。昼食後にミツイシ野菜工房の開店に至るまでのドキュメント映像を鑑賞。石川様にご説明いただきながら水耕栽培の工場内を見学。水耕栽培の野菜は通常の野菜よりも栄養価が高く、また天候に左右されず安定供給出来ます。

■ 新富士ロータリークラブ

委員長／稲葉 邦文

事務局／〒416-0913 富士市平垣本町8番1号

TEL 0545-61-0360 FAX 0545-61-8564

URL <http://www.shinfuji-rotary.com>

あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成支援する。
地元地域社会におけるニーズに応える教育的、人道的および職業関係のプロジェクトを立案し、実施する。

事例1 新富士ロータリーおきがる無料相談所



この無料相談会は、毎年1回実施し、今年で18回となります。

一つの相談でも相談内容が多方面の専門知識を必要とする事例も多く、業種ごとの単独の相談会では、相談者のニーズに十分応えることができない場合も数多くあります。

そこで、各種の相談を同時に受ける相談所の開設は、職業奉仕活動を重視するロータリーの特徴を最大限に発揮できるプロジェクトであります。当クラブの会員が相談員となり、相談者が集中するコーナーについては、外部から相談員を依頼し、医療・法律・税務・登記・不動産等の相談コーナーを設けます。

毎回相談員25名、平均約72件の相談件数があり、法律、登記、税務の順になります。

事例2 施設慰問蕎麦打ち会

この慰問蕎麦打ち会は今年で7回目となります。養護老人ホーム・介護施設等を、毎年1回例会扱いとして会員及び夫人も参加し、会員の内よりプロ級の蕎麦打ち実演を見てもらい、昔、自分達も蕎麦打ちをした事を思い出して頂き大変悦ばれております。又、会員の得意を生かし、ミニコンサート、ゲーム、落語、叙情歌の合唱等、施設の全員と楽しく過ごし入所者の方々も、昔を懐かしみ、思い出し、涙ぐむ方もいます。

又、慰問により、リハビリにも繋がるとの事で喜ばれております。



沼津西ロータリークラブ

委員長／栗原 侑男

事務局／〒410-0309 沼津市根古屋127-10

TEL 055-967-2152 FAX 055-967-2152

URL <http://www.geocities.co.jp/numazuwestrc/index.html>

元来10月はロータリー年度の中で「職業奉仕」が特に強調される月間です、職業奉仕プログラムの中で職場例会を実施します。沼津西クラブの中の職業分類がなく、将来クラブに会員として入会くれそうな、希望を有する会社訪問を計画しました。10月10日「職業奉仕月間」に工場（職場）見学を実施します。会議室をお借りし例会、食事をしてから見学になります。資本金一億円、従業員96名の会社です。又、月間から外れますが、外部卓話を沼津警察副署長に「私の体験談」を下期2月27日（木）に御願いました。

事例1 エヌ・イーケムキャット沼津事業所見学

10月職業奉仕月間に会員の事業所の見学会を計画。我が沼津西RCの会員での沼津事業所所長に見学を御願したところ、快く引き受けて頂き実現いたしました。国内最大級の貴金属の科学加工メーカーとしてエネルギー、自動車、石油化学ファインケミカル、医薬品、公害防止など様々な分野で活用される触媒など開発、製造しています。12時30分例会開始、事業所幹部の方には、貴重な時間を割いて頂き会社の概要の説明、社内設備等、また説明役の方までつけて頂きました。様々な分野で活用される触媒を開発・製造されている説明を受けると共に、排ガス処理や使用済みの水の浄化システム等、自然に戻すという環境面を第一重点にした企業であることを認識しました。



事例2 (株)アルファ工場見学



アルファ様のご厚意により、工場見学をさせていただきました。沼津市商工会（旧原町商工会）で例会、食事を済ませ全員で5分ほど車で移動、近くのアルファ工場集合、片岡宏己社長自らお迎えを頂き会議室で現在に至るまでの経緯などをお聞きしました。特に製品開発後、日本のメーカーには、中小企業ゆえに注目されず、仕方なくアメリカのメーカーに話を持って行ったことなどは、とても興味深いところでした。現場の工場内はきれいに整理整頓され、従業員の方々皆さん、にこやかに迎えて頂きました。小さいながらも精密な製品の出来上がりに驚嘆するばかりでした。メーカーというのは、やはり、どこにもないオリジナルな製品を作ることが大切だと思知らされました。

静岡第4～5分区

■ 清水ロータリークラブ

委員長／柴田 康雄

事務局／〒424-0821 静岡市清水区相生町6-1

TEL 054-355-1510 FAX 054-351-2320

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」のテーマに基づき、企業の職業倫理の保持に努め、職場の健全性を確保することを基本に活動し、ロータリーの原点である職業奉仕の理念を正しく理解することに努め、四つのテスト、職業宣言を自らの職業生活に適用し実践する

事例1 2011年事業所見学 三井デュポンフロロケミカルジャパン

清水区三保地区にある三井化学と米国デュポン社合併の三井デュポンフロロケミカルジャパン清水工場を会員20数名で工場見学いたしました。この工場はフッ素樹脂製品を製造しており、パッキン材・フライパンのコーティング材・ドームスタジアムの屋根材等に使用されております。企業スローガンとして、「フッ素科学の力で可能にする



る新素材の創出」、「グローバルビジネスを支えるデュポンネットワーク」、「安全確保と環境保護による持続可能な成長」を掲げ、コアバリューとして「安全・衛生」、「環境保全」、「法令遵守・業務倫理」、「人間尊重」を掲げて、清水工場では休業災害ゼロ300万時間を更新中の素晴らしい工場でした。

事例2 2012年事業所見学 清水駅西再開発街区

完成直近の清水駅西口第一地区再開発事業の一つ「えじりあ」を施工会社鈴与建設の案内で施設見学しました。清水駅を中心とした商業・業務機能の充実と中心市街地への定住化の促進を図るため、土地区画整理事業と同時施行により、清水の玄関口に相応しい市街地再開発事業として進められました。高層棟(地上25階)と低層棟(地上7階)からなり高層棟の1～4階は商業施設と公共施設、5階以上は住宅となっています。

高層棟の地下部分は8m掘削し固い地盤の上に直接基礎を施工し、その上に免震装置をセットして建物を建設して地震に強い構造となっております。新設バスターミナルとの接続も図られ利便性が向上し清水駅前の賑わいが復活することを願います。



静岡東ロータリークラブ

委員長／大村 幸代

事務局／〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 静岡安東ハザマビル5F
TEL 054-254-5611 FAX 054-221-0515

職業奉仕はロータリークラブの理念の原点であり、職業倫理を守り推進し、あらゆる有用な職業について認識を広め、各自が職務を通じて社会に奉仕することに努める。

具体的には、日常の自分の職業では接点のないような業種について、直接職場を訪問し、説明を聞き、その仕事について学習し理解を深めることにより、自らの職業を更に有用なものにしていく機会とする。

事例1 職場訪問 小田原 「鈴廣」見学

平成21年10月22日会員21名ご家族5名の26名で小田原の鈴廣の「かまぼこの里」で蒲鉾の製造過程を見学し、「かまぼこの里」で実際に蒲鉾作りとちくわ作りを体験しました。何年も修行した職人さんのみごとな手さばきに感心しつつ、会員も実際に専用の包丁で挑戦し、悪戦苦闘の末それぞれ「世界にひとつのかまぼことちくわ」を作りました。普段何気なく口にしていた食べ物が、製造過程を見学し自らも作るという経験をした後は何か特別親しい食材に思えました。「鈴廣」は慶応元年(1865年)創業のお店だそうです。つまり148年間も水産練り製品の製造販売を続けているということになり、時間の重みをあらためて感じる見学となりました。

事例2 職場訪問「麒麟ビール横浜工場」見学



平成23年10月27日麒麟ビール横浜工場を見学しました。明治3年(1870年)に横浜山手にスプリングバレー・ブルワリーが開設されこれが現在の麒麟ビールの創業だそうです。現在の工場内は機械化され、製麦・仕込み・発酵設備と貯蔵タンクの巨大さに驚き、缶、ビン、樽詰め工程では、高速で次々に製品が作られる風景に釘付けになりました。最後においしいビールの入れ方講座で、1.グラスから缶を少し離して一気に入れる。泡がグラスの半分くらいまでになるまで待つ。2.グラスのビールが3/4になるまでゆっくり入れる。3.ビールの泡がグラスから1cmぐらい盛り上がるまでビールを注ぐ。を实演してもらい会員一同感動して見学を終えました。

■ 清水北ロータリークラブ

委員長／吉田 裕

事務局／〒424-0821 静岡市清水区相生町6-1 平成15ビル2F
TEL 054-355-1510 FAX 054-351-2320

ロータリアンが、それぞれの職業を通じて他の人々に奉仕し、高い道徳的水準を保つこと
又ビジネス界のリーダーであるロータリアンは、各自の職業を通じて技能と専門的知識を提供し、関わった
人々の意欲を喚起する。

事例1 2011年10月24日 職業見学



この日の職業見学は、中部電力株式会社浜岡原子力発電所を訪問しました。事前に名簿を提出し、当日は身分の確認の後発電所内に案内された。

2011年の3月の大震災以来運転停止中の発電所内を見学し耐震工事や防波壁の工事の説明を受けました。

事例2 2012年10月29日 職業見学

10月29日は職業見学として日本軽金属株式会社蒲原製造所を見学しました。この製造所は昭和15年10月に創業を開始して以来、アルミニウムの地金から各種加工し品に至る複合事業を担う日軽金の中核工場として操業しており、大量に電力を使うアルミニウム製錬の大部分の電力は自家用水力発電所から供給され、その総電力は142,500Kw達するとの事でした。



静岡南ロータリークラブ

委員長／片山 栄夫

事務局／〒422-8075 静岡市駿河区南町6-16-404
TEL 054-281-5612

会員自らの職場において、ロータリー「超我の奉仕」を周知することに努めます。

○職業奉仕月間に卓話を中心に職業奉仕の精神を学ぶ機会を作ります。

○職業奉仕の実践を学ぶ機会として職場見学を計画します。

事例1 2011年11月18日(第2297回) 用宗漁港見学

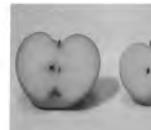
職業見学活動の一環として用宗漁港を見学致しました。清水漁港協同組合用宗支所の上山支所長様、小林総務係長様よりご挨拶と用宗漁港の漁業についてご説明をいただく。「シラス」は3種類のイワシ類の幼魚の俗称とのことで、カタクチイワシが最も多いとのことでした。当日は残念ながら海が荒れており「休漁」でした。その後、同漁協が運営する「用宗フィッシャリーナ」を見学させていただきました。お世話になりました。笹本委員長、ありがとうございました。



事例2 2012年11月20日(第2345回) (株)エビスサンプル様見学

社長様のご案内で会社見学を実施いたしました。数々の食品サンプル製品を見せていただき、製造技術、素材、製造工程の見学をいたしました。エビスサンプル様は食文化に携わるサンプルメーカーとして1980年1月に静岡市にて創業されました。以来、全国ナンバーワンを目指して日々たゆまぬ取り組みに努めておられます。

環境問題への対応を始め、時代に即した提案でお客様のご要望に応じている。



■ 駿河ロータリークラブ

委員長／杉浦 英昭

事務局／〒421-3211 静岡市清水区蒲原新田1-15-23
TEL 054-388-2826 FAX 054-388-2980

職業奉仕の精神を通じ、個々の会員が地域社会に貢献できるようにする事を目標とする。

①四つのテストの唱和

②企業訪問又は職場見学の実施

事例1 植木の手入れ体験学習

当クラブが以前植樹した野外学習センターの「さつき」の刈り込み及び草刈りを、造園業を経営する会員の指導の下、剪定機、草刈り機を使い作業を行った。

社会奉仕委員会との協同事業として、地域の美化とあわせて機械の操作等を学んだ。



静岡日本平ロータリークラブ

委員長／望月 由美

事務局／〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F

TEL 054-254-5611 FAX 054-221-0515

URL <http://www.nihondaira-rc.org>

我がクラブは、前年度創立40周年を迎えた、旧静岡市4番目に設立されたクラブです。

創立以来ロータリーの目的であり、金看板でもある「職業奉仕」について常に真剣に取り組んできました。職業奉仕活動としては主に会員の職業に対する誇り、倫理観をさらに高めるために会員卓話、外部講師の招聘卓話の実施。職業を通じて社会にいかに関与していくかを実際に会員及び近隣の優良企業や事業所を訪問し、体験し、意見交換をして、自分の職業に反映させる職場見学会の実施。を柱に活動を行ってまいりました。

下記に最近実施した2つの事例を紹介いたします。

事例1 2013年3月8日 職場見学

3月8日の例会は、職場見学として、静岡市駿河区に自社ビルがある静岡新聞社 SBS放送を訪れました。17階の“Tenbooo”というレストランで昼食後、18階の会議室で例会開催。その後、ラジオ、テレビと案内していただきました。静岡新聞は、昭和16年12月1日1号が発行され、現在は67万部という地方紙としては日本一の発行部数を誇っています。製作センターのしくみ、新聞ができるまでを案内いただきました。SBSラジオでは、ラジオ生放送中のスタジオを訪れ、「静岡日本平ロータリークラブの皆様が見学に来ていらっしゃいます。」と放送いただきました。SBSテレビでは、制作室そしてスタジオのセットを見学させていただき、スタジオでの集合写真を思い出としました。廊下など至る所に今までの大きな出来事の記事が張られ、報道の大切さをより思いました。



事例2 2012年3月9日 職場見学



この日の職場見学では、静岡手をつなぐ育成会の事業所 ラポール・タスカベンチタイムと、安倍川事業所 ゆにーくを見学させていただきました。数年前から、職業奉仕の一つとしまして支援をさせていただいております、知的障害者の施設の皆様を訪ねました。ラポール タスカベンチタイムでは、数種類のパンを作り販売しています。クラブの例会にも販売に来ていただいています。安倍川事業所 ゆにーくでは、手作りの帽子やポシェットなど、あらゆる手芸品を作り出し販売しています。クラブの会員の誕生日プレゼントとして、当クラブでも購入しています。真摯に働く、事業所の皆様に感動しました。

■ 清水西ロータリークラブ

委員長／石野 佳宏

事務局／〒424-0821 静岡市清水区相生町6-1

TEL 054-355-1510 FAX 054-351-2320

URL <http://www.tjs-net.co.jp/ct/nishi-rc/gaiyo.htm>

職業奉仕活動は、ロータリー活動の原点あるいは根幹であることを認識し、いかに自分の職業を通じて社会に奉仕できるかを実践していく

事例1 事業所見学



昨年は、富士朝霧高原にある県立畜産技術研究所の見学を行いました。消費者の厳しい商品の選択肢に合わせた畜産品の商品開発の現場を見学し、大変な苦勞と努力により、畜産品の品質の工場と均質性に努めていることを、放牧地や牛舎内に飼育されている牛たちを眺めながら、説明をお聞きし、どのような商品開発にも隠れた努力が積み重ねられていることを、普段消費している商品から、国民の健康を第一の視点として飼育している事を切実に感じられる一日でした。

事例2 勤労学生の表彰

日本社会が、これだけ豊かになっても、家庭環境により学びたい青少年が、勤勞をしながら学ぶ環境が存在します。西ロータリークラブも、そのような青少年に、何か手助けは出来ないかと考え、勤勞学生(清水東高定時制)の表彰をおこなっております。表彰に訪れてくれる学生は、一様に元気で快活なる学生です。その様子からは、普通の青少年と何ら違和感はありませんが、生活を聞くに当たり、大変なスケジュールで学習しており、年代にそぐわないような目的意識もしっかりしており、しっかりとした受け答えを見るに当たり、ただ漫然と青春時代を過ごしている青少年に、もう一度自分の生活を見直せと言ってやりたい気持ちに駆られる一日であります。



■ 清水中央ロータリークラブ

委員長／生子 哲男

事務局／〒424-0821 静岡市清水区相生町6-1

TEL 054-355-1510 FAX 054-351-2320

URL <http://www.portwave.gr.jp/shimizu-chuo/>

創立から25周年を経過し、旧清水では一番若いクラブです。

創立以来ロータリーの5大奉仕を中心に活動し、特に国際奉仕と職業奉仕については前向きに取り組んできました。職業奉仕活動としましては会員の職業に対する倫理を深める為に4つのテストの唱和を行い、会員の卓話と外部講師の卓話を、柱にさらに近隣の事業所を訪問し見聞を深め、自分の職業にも反映させるべく職場見学会を数多く実施してまいりました。

下記に最近実施した2つの事例を報告いたします。

事例1 地球深部探査船「ちきゅう」の見学

1月25日の職場見学は清水港興津第二埠頭に停泊中の独立行政法人海洋研究開発機構所属の地球深部探査船「ちきゅう」総トン数57,087トンの見学です。「ちきゅう」は2005年7月29日に竣工以来、試掘試験を行ったあと2007年9月21日から総合国際深海掘削計画(IODP)のミッションに参加し、東南海地震発生域において、南海トラフ地震発生帯掘削計画を開始し、その他いろいろの掘削を行い現在にいたる。「ちきゅう」に乗船するには厳しい体温チェックを済ませ乗船です。この船は世界の最先端の設備を備え地球の地殻深くボーリングをして地質その他の研究をし、出航時には研究目的に合わせ専門の学者が乗船し船は一大研究室になるそうです



事例2 清水魚市場見学



平成24年4月に新しく建て直し市場の面積も当時の4分の1に減らし「コンパクト」「クリーン」「多目的」と市場にコンセプトを定め、10月にはマグロ館を増設し魚販売から不動産業に重きを置き収益を確保した全国でも稀な株式会社の地方卸売り市場です。30年前はピークで170億円あったそうですが、現在は200軒あった顧客が40軒程度に減ってしまったそうです。クリーンに関しては人、モノの出入りを限定し、衛生に力を入れ、温度管理に関しても20度に設定、魚の競だけでは有効活用されない為、セリの時間以外にマグロの解体ショーや、コンサートを企画、10月以降は6時30分より活魚、鮮魚、冷凍マグロの順でセリが始まるそうです。

静岡ロータリークラブ

委員長／平松 義康

事務局／〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 安藤ビル5階
TEL 054-253-2620 FAX 054-221-0515
URL <http://www.shizuoka-rc.jp/>

ロータリーの基本理念「奉仕の精神」を職業奉仕を通じて実践する事を基本方針とし、それに基き、ロータリークラブ会員が職業奉仕の理念を見つめ直す機会をつくります。その実践の為、クラブ会員若しくは外部講師による職業を通じた「奉仕の精神」についての卓話や、職業奉仕月間にその時節に最も適した職場見学会を企画・実践します。

事例1 2009年 為になり、楽しめる『職場見学会』



志田会長の方針に沿った、『新東名建設現場』と『初亀醸造』の2箇所を訪問した。NEXCO中日本の案内で、清水区庵原の伊佐布ICから仮舗装の新東名を進み、吉原JCT高架橋で詳細に説明を受けた。地上80メートルの高さに数本ものランプ橋、遠くに『中部横断道』の高架橋が突き出ている景色は圧巻であり、久しぶりに見た日本の建設技術に感動した。次に、橋本社長から事前に『前日と当日は納豆を食べない事と風邪引きの方の見学はご遠慮願いたい』との注意事項に、見学メンバーも厳格な気分で臨み、社長の真摯な酒造りの姿勢に、有意義な職場見学をさせて戴いた。日本酒に頼みメンバーも見学前の利き酒(2.8ℓ)を簡単に平らげる熱心さであった。

事例2 2012年 浜岡原子力発電所の津波対策の現状

2011年3月11日に発生した東日本大震災の後遺症として、原子力発電所の津波・地震対策が全国的に問題になっている。2620地区には唯一『浜岡原子力発電所』があり、当時の首相から発電停止を求められ、現在、津波対策工事が鋭意進められている。会員卓話を聞き、その現状の確認に、会員企業の案内で『職場見学会』を開催した。対策工事は相当なスピードで進められていた。『職場見学会』当時は、政府の3連動地震の被害想定が発表される前であり、会員企業独自の方針に基づき、対策が進められていたが、被害想定が発表され、不足であれば、地域の人々が安心感を感じられよう追加対策をすとの説明がなされた。現在も、追加対策が着々とされている。



焼津ロータリークラブ

委員長／近藤 吉典

事務局／〒425-0022 焼津市本町2丁目12番8号
TEL 054-629-4850 FAX 054-628-7669
URL <http://www.yaizu-rotary.org/>

ロータリークラブにおける「職業奉仕」理念の理解・実践に向け、以下の事業を実施

- ① 毎月第1例会で「4つのテスト」を唱和。
- ② 企業訪問を通じ、経営理念と見聞を深める。
- ③ クラブフォーラムの担当
- ④ 青少年奉仕委員会と協力し、焼津市校長会との連携を図り、同時に講師派遣に協力。
- ⑤ 地区職業奉仕セミナーへの参加。

事例1 焼津市校長会と語る会

当クラブでは、青少年奉仕委員会を中心に、平成元年より継続して市内小中学校の校長会との懇談会を行っている。会議は、教職員の移動の関係から、毎年5～6月に開催され、ロータリークラブで協力可能な様々なプログラムについて協議されている。プログラムの内、特に職業奉仕の一環としての、生徒の職場体験や学校への講師派遣が主要事業として学校より期待されている。尚、事例-2の活動と合わせた一連の活動に対して過去にRI「意義ある業績賞」を受賞している。



事例2 学校へのロータリアン講師の派遣



焼津市校長会との懇談会の中で協議された講師派遣を実施している。講演の内容は多岐にわたり、対象も生徒・教職員と幅広く行われている。講師の派遣に当たっては、依頼テーマに沿った職業分類の会員を講師として選定している。また、昨年度は初めての試みとして、少人数にグループ分けされた中学校の生徒を対象に、「職業について」のテーマのもと、講演を行った。少人数のグループ毎に、複数の講師を派遣することで、単なる講演ではなく、生徒と直に接することが出来、生徒にとっても内容の濃い講演だったと思われる。本年度も8月に志太地域の教職員対象の講演を実施する予定である。

島田ロータリークラブ

委員長／永井 鐵也

事務局／〒427-0042 島田市中央町11-13

TEL 0547-37-3793 FAX 0547-37-8184

「自然環境保全」関係の職場見学・体験会を行い、「自然環境保全」について理解を深めたい。

事例1 職場見学(移動例会)

10月の職業奉仕月間に因み実行した(中型バス2台使用)。

南アルプス山中の特殊東海製紙社有林の中の樫島ロッジにて移動例会を行い、元東海フォレスト社長、内海登氏に「南アルプスの自然環境保全」について卓話をしていただいた(質問等多数)。

そのあと、車で40分、二軒小屋まで行き、二軒小屋ロッジ前に「目薬の木」を記念植樹し、周辺を散策した。帰路、対岸に特別天然記念物のカモシカを発見。みんなおおいに驚いた。後日、記念植樹のポールにロータリーの徽章を取り付けた。その後は訪れた会員の誰かによる「メグスリノキ」の様子報告がクラブにあります。



藤枝ロータリークラブ

委員長／平 和則

事務局／〒426-0037 藤枝市青木1丁目11-10 アクセス21 2階
TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org>

藤枝ロータリークラブは、2011-12年度に創立40周年を迎えました。当クラブにおいても、創立以来クラブの目的である「奉仕」に鋭意取り組んでおります。社会奉仕活動の中核事業として「静岡産業大学冠講座」を実施していますが、当クラブ会員が企業倫理や事業・職業などについて説明しています。また、地区事業として計画されている富士山周辺環境保全活動に積極的に参加していきます。職業奉仕活動については、職場訪問を行い相互の職業について理解を深めると共に、常に職業を通じた社会貢献意識の高揚を図っています。

事例1 静岡産業大学冠講座



当クラブでは、2008年から静岡産業大学（藤枝市の同学情報学部）において、冠講座を行っております。2012-13年度も12回の冠講座を開催しています。今年初回である4月23日（火）には、第2620地区高野孫左工門ガバナーにお願いし「国際ロータリーと日本のロータリー」について講義をして頂きました。通常当クラブ会員が、大学生50名位の前で、講師としては素人ながらも交代で90分の講義を担当しています。講義内容や資料作りには大変悩んでいます。なお、2011-12年度地区大会で「RI意義ある業績賞」、2012-13年度地区大会で「ガバナー推奨賞」の表彰を頂きました。

事例2 職場訪問（坐禅例会）

宗教法人心岳寺（藤枝市）において、2012年10月17日（水）に坐禅例会を開催しました。当クラブの鈴木舜光会員が同寺の住職です。坐禅が初めての参加者も居りましたが、曹洞宗と臨済宗での坐禅の違いなどの説明を受け、坐禅の意義、作法、組み方などを学んだ後で鈴木会員の指導の下、実際に出席者全員が坐禅を行いました。坐禅中、鈴木会員が巡回して一人ひとり姿勢を直し、警策で肩を打ちました。流石に打たれると身も心も引き締まりました。「無の境地」や「心頭滅却」とまではいきませんが、短い時間にも拘わらず、「瞑想」を行う時間を作ることができました。なかなか体験できない貴重な職場訪問となりました。



静岡西ロータリークラブ

委員長／渡辺 憲治

事務局／〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12-5F
TEL 054-254-5611 FAX 054-221-0515
URL <http://www.shizuoka-west-rc.jp/>

例会、奉仕活動をはじめロータリークラブの色々なプログラムを通じ、会員相互で交流し一緒に行動することにより自分自身を研鑽し互いを高めあう機会を提供するのがロータリーの根本であろう。ここ数年来、ロータリーは曲がり角にきており時代への適応を迫られ「変化」することを余儀なくされている。当クラブも従来行っていた奉仕プロジェクトを再考察する時期にさしかかっている。この1年、皆で議論し望ましい方向に舵を切ろうと考えている。

事例1 会員の職業に関する3分間スピーチ

従来から職業奉仕は事業所の見学を目的とし会員の所属する会社を訪問し職業奉仕の実践を見学してきたのだが、すべての職場を見学するには時間が足りないのを鑑み2010年度には全会員から「職業に関する3分間スピーチ」と題し自己の職業の紹介を短時間に卓話としてリレー形式でプレゼンテーションしていただいた。当然、3分では収まらず5～10分くらいかけて雄弁をふるい、会員の職業倫理、普遍性、特殊性などを強調。この試みは単純な発想ではあるが、副産物として普段あまりお話のできない人とも知り合えるきっかけを提供したことによりクラブ内の相互理解がより深まったものと感じられた。



事例2 お相撲さんと話そう



当クラブでは青少年育成事業として「歯車賞」をもうけ秀逸な奉仕活動をしてきた小中学校の児童、父兄に対しその努力を称え表彰してきた。回も重なったため一度この事業を中止し、数年間の討論の末今回「歯車塾」として2012年6月10日静岡市立梅ヶ島中学校において東関、振分両親方をお招きして生徒に「相撲」という職業を通じてどんなことが人生で大事であるかということ昼食を摂りながら質問に答える形式で交流をはかった。素直な心、継続する志、あいさつと返事、恐怖心に打ち勝つ、日ごろの礼儀が必要だ、など生徒の感動が伝わってくる交流会であった。この試みは当クラブとして形を変えながら継続していきたいと考えている。

焼津南ロータリークラブ

委員長／小梁 博治

事務局／〒425-0085 焼津市本町2-12-8 ヴィラマリソール焼津104B

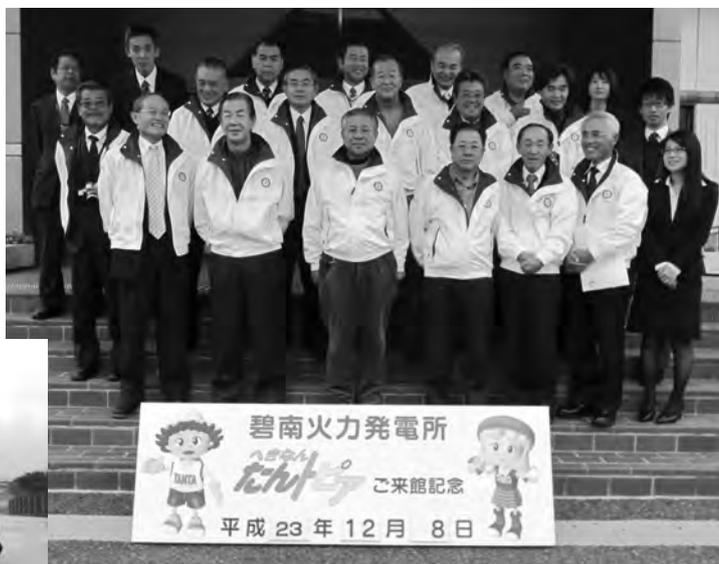
TEL 054-629-4850 FAX 054-628-7669

URL <http://www.yaizusouthrc.eshizuoka.jp/>

当クラブは、今年度38年を迎えるクラブであります。小濱隆夫会長の「心一つで、見直そうロータリーの心」のターゲットのもとロータリーの本質は職業奉仕であり、その考え方の根源は四つのテストであるという事で、今年度より例会時四つのテストの唱和を復活することになりました。今こそロータリーの原点に戻り、職業を通じて社会に貢献する事、職業奉仕とは何かを考えていきたいと思えます。

事例1 2011年12月8日 職場見学

中部電力株式会社のご協力により、愛知県の碧南火力発電所、メガソーラたけとよ等の見学をさせて頂きました。東日本大震災の後、原発の中止等により電力不足に陥っている現在、地球環境問題をふまえ一段と注目されたしたソーラ発電や火力発電所を見学し、電力発電現場の実態と今後のエネルギーの取り組みを考える良い機会となりました。



事例2 2012年10月16日 早朝坐禅例会



毎年恒例になっております、早朝での坐禅例会です。

元ロータリーメンバーだったご住職のご好意により毎年お世話になっております。

年に一度の早朝での例会ですが、本堂の前に座り自分自身を見つめ直す事が出来、ご住職の法話を聞くというのは、なんとすがすがしい事でしょう。

20年以上続けていますので、今後も是非継続していきたいと思っております。

榛南ロータリークラブ

委員長／大石 新治

事務局／〒421-0422 牧之原市静波2228-43

TEL 0548-22-1399 FAX 0548-22-1399

URL <http://www.hainan-rc.jp/>

ロータリーにおける職業奉仕の理解度が曖昧で各々が異なった認識を持っている様に思える処から本年度は、職業奉仕の意味・職業に誇りを持つこと・職業への愛情や責任・道徳的水準をたかめる・職業委員会の仕事などをテーマに会員全員で意見を出し合い学び合いその中から共通認識を見出し「ロータリーで言う職業奉仕」を常に意識しながら活動を継続出来る様、意見交換と学びの場を企画して行きたい。

事例1 夏季早朝座禅例会



2011年8月23日の例会は恒例となりました早朝座禅例会です。毎年会員の曹洞宗龍門山大興寺を会場に早朝6:00点鐘にて例会を開会致しました。座禅とは仏教の道への正門であると言われ物事の真実の姿、あり方を見極めてこれに正しく対応してゆく心の動きを調えることだそうです。そして当日は本堂にて「まだれ」の有る座禅を体験致しました。

牛蛙の鳴き声も、やぶ蚊の羽音も気にならないひと刻が過ごせた様に思えます。

事例2 2009年4月14日 職場見学

2001年富士フィルムグループの液晶ディスプレイ用部材の新たな生産拠点として設立され、今後も大きな躍進が期待されています富士フィルムのフラットパネルディスプレイ材料事業の一翼を担っている富士フィルムオプトマテリア(株)の職場見学を実施しました。液晶ディスプレイは「薄くて軽い」・「目に優しい」・「消費電力が少ない」など人に優しく、地球に優しい特性を備えておりこれからの時代にマッチした商品として、今後液晶の用途はさらに広がり市場はさらに拡大するだろうとの説明がありました。そして液晶ディスプレイ用工学フィルムの安定供給・品質向上を通じてLCD産業の発展に貢献を目指しているとのことでした。



静岡北ロータリークラブ

委員長／林 大樹

事務局／〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5階
TEL 054-254-5611 FAX 054-221-0515

職業奉仕の取り組みの一環として、高い論理基準の実践を目指します。

四つのテスト(言行はこれらに照らしてから)

- ① 真実かどうか
- ② 皆に公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ 皆の為になるかどうか

事例1 職場見学会 浜岡原子力発電所

浜岡原子力発電所について、私たちは現在マスコミ。報道機関を通して県民投票のこと、防波堤の高さ云々の問題等を知らされていますが、現地での対応など少しでも理解できればと、浜岡原子力発電所の見学を実施しました。



藤枝南ロータリークラブ

委員長／植田 裕明

事務局／〒426-0037 藤枝市青木1丁目11番10号 アクセス21 2F
TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org>

ロータリークラブ会員の多くが地域社会における貢献人であるところから、基本理念である「奉仕」の精神を通じて、地域社会における世論形成・先導を行う。藤枝市若しくは志太地域で、本地域ならではの発信ができるような独自性を持った企業訪問を行い、地域発信、地域社会貢献に心がけたい。

脚光を浴びている「健康寿命」において静岡県が全国一であることと、「健康予防日本一」をめざしている本市の方針に鑑みて、健康面において社会貢献を行っている人(公的機関も含む)を講師として迎え、卓話を行う。

事例1 2010年10月29日 職場訪問 社会福祉法人ハルモニア

ハルモニアは、平成16年に設立された社会福祉法人で、知的障害者の通所更生施設ならびに授産施設、高齢者訪問介護事業や心身障害者の生活支援事業など幅広い福祉事業を行っております。近年では藤枝市から知的障害児通園施設と私立保育園とが移管され、統合した複合施設を開設、児童発達支援センターとしてスタートするなど、地域に大きく貢献しております。

写真は知的障害者の授産施設での作業の様で、地元では「花ぼろ」と称している神社のお祭りの際、各お宅の軒先に飾られる紙製の花飾りを作っているところです。

なお、同法人の理事長はロータリアンです。



事例2 2011年10月14日 職場訪問 中外製薬藤枝工場

藤枝市や近隣の地域には、大井川の伏流水が豊かであることや東名高速道路のインターチェンジに近く交通の便がよいことから、製薬会社や食品メーカーの工場が多く、藤枝市には科研製薬、持田製薬、中外製薬の工場があります。

同工場には、たいへんすばらしい天然芝のサッカー場もあり、シニアサッカー大会の会場として提供するなど、地域貢献にもおおいに寄与しています。サッカーの街を標榜する藤枝市としても非常にありがたいことです。



静岡第6～7分区

浜松東ロータリークラブ

委員長／堀部 莞爾

事務局／〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラアクトシティホテル浜松内
TEL 053-459-0110 FAX 053-471-1183
URL <http://heastrc.sakura.ne.jp>

- ① 自己の職業の知識を静岡文化芸術大学の講師として7年間に渡り講師を務めた鈴木洋之君の実例を紹介する。
- ② 会社の窮地を救った教訓から「四つのテスト」この意味を知らしめる。
- ③ すぐれた会社の職場訪問を実施し社会貢献を学ぶ。
- ④ クラブフォーラムを開催し「職業奉仕の考え方」などをテーマに理解を深める。
- ⑤ 新会員を中心に「私の職業」と題してスピーチをお願いする。
- ⑥ 大学生の起業に対しあらゆる方面に積極的に支援活動を展開しているニュービジネス協議会を通して活動しています。

事例1 職業の知識を教える会員の鈴木洋之氏



会員の鈴木洋之氏は、長年仕事として「建築設備」に携わった技術を、次世代の若い人に伝えることが職業奉仕になると考え7年間にわたり講師を引き受けてまいりました。静岡文化芸術大学デザイン学部空間造形学科は 県内唯一最短で建築士受験資格の取れる大学である。そのため、建築設備計画は必須科目です。内容は「建築空間をデザインする上で把握しておくべき基礎知識を学習してもらう」とした。16回の講義のうち完成現場の建築設備の維持管理方法の実体験、2回目は工事中の建築設備施工方法の実体験などです。建築基準法ほか各種建築設備にかかわる法規の授業では、法の成り立ちを過去の社会情勢を背景に講義した。

何れも、好評で今でも当時の学生から、「建築設備に興味を持つことが出来ました」等、のレポートをもらい、引き受けてよかったですといっています。

事例2 2012年10月12日 第2711回例会 浜岡原子力発電所見学

例年実地している職業奉仕委員会による職場訪問を、本年度は3・11東北地方の地震および津波災害そして福島原発の事故から急激に高まる原子力施設の安全性の問題点や放射能被害などの不安から、今回は静岡県浜岡市の浜岡原子力発電所を視察いたしました。原子力発電の現状と安全管理及び津波対策の防潮堤工事の現状をつぶさに視察いたしました。

我々が想像している以上に厳格な運営をされていましたが、放射能拡散の恐怖は依然としてぬぐえないものです。防潮堤も18mが建設中でしたが、20mの予測が政府から出されさらに積み増しをするようです。しかし自然の力には到底逆らえないのではと改めてなりません。ニュースで見た津波の恐怖は簡単にはぬぐえません。今回原子力発電所の現状認識を深めたことは大変意義深いものと思います。よって職業奉仕につながるべく貴重な知識を得ることができました。



浜松南ロータリークラブ

委員長／市川 善和

事務局／〒432-8502 浜松市中区東伊場1-3-1
TEL 053-413-6107 FAX 053-413-6107
URL <http://www.h-minamirc.jp/>

- ① 4つのテストの唱和・月次最終例会にて唱和いたします。
- ② 職場訪問を年間で1度は行います。
- ③ 『中学生の為の救急蘇生講座』の実習と実習教材購入支援を行い、ロータリアン自身も講習に参加して戴くように致します。
職業奉仕の理想の主旨にのっとり、各自企業理念の保持に重点を置き、メンバー全員が協力して、今年度の委員会活動を進めていきたいと思っております。

事例1 職場訪問 障害者雇用優良事業所

(株)レンテック中部大人見工場訪問

説明案内：事業部長 神谷育俊様

浜松市中区高林で40年以上リネンサプライ業務を行って、平成19年4月よりここ浜松工場に移動して営業をしています。

生産量は日産33トン、ホテルリネン専用と病院リネン専用のリネン工場が併設している形で、障害者雇用にも取り組んでおり、私達の事業所は、《浜松障害者雇用優良事業所》の1号として選ばれました。省エネルギー・CO2の削減に取り組み、安全で安心な商品を提供できる環境づくりを計画しております。



事例2 中学生の為の救急蘇生講座18年の成果



病院外で突然発生したスポーツ事故、災害事故等で倒れ、“心停止”した傷病者を救命するには、偶然そばに居合わせた一般市民による119番通報と救急車が到着するまで、慌てず「正しい心肺蘇生」を続ける「救命のリレー」をスタートすることです。浜松市では全国に先駆け、医師会、救急隊、教育委員会が一体となって「人の命を大切にする街づくり」をテーマに浜松南RC協賛のもと「中学生を対象とした救急蘇生講座」に取り組んできました。講座開始後18年が経過して606回の講座を開き、18,429人の中学生が受講しました。(毎年浜松市全区域50校が参加)現在、緊急時の救命率は全国平均をはるかに超える成績となっています。

■ 浜松北ロータリークラブ

委員長／飯尾 哲秀

事務局／〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1

TEL 053-458-3722 FAX 053-458-3722

URL <http://www.hamamatsukita-rotary.hybs.jp/>

職業奉仕はロータリー活動の原点であり、業種の異なる会員が情報を交換し合い価値観を共有することにより、厳しい経済状況下においても、高い倫理基準を保ちながら責務を全うできる様、会員への情報提供及び支援に努める。

事例1 2013年3月6日 国会見学



平成25年3月6日(水)職場訪問といたしまして、会員のご兄弟のお力をお借りいたしまして、参議院本会議を傍聴させていただきました。その後、国会内の食堂にて昼食を頂き、地元国会議員・有力国会議員の方々とも有益なる情報交換をさせていただきました。改めて、政治の大切さを学び、地方での活動の重要性を認識させられ、非常に勉強になり有意義な活動となりました。

事例2 小澤電子工業株式会社 浜北工場視察

浜松北RC会員の小澤景一君が会長を務める、マイクロエレクトロニクス分野で企業活動を展開されております「小澤電子工業株式会社」の新工場である浜北工場の研修をさせていただきました。

(以下、小澤電子工業株式会社 会長 小澤景一さんの談)

今までの「半田工場」では安心して物造りに専念できる状態ではありませんでした。

そこで将来を考え、競争力のある製品造り、安全で環境に良い工場を目指しました。

これからは新工場をベースにコンプライアンスはもちろん、国際認証基準を所得して広くお取引先と安定した仕事につなげたいと思っております。



掛川ロータリークラブ

委員長／大橋 茂夫

事務局／〒436-0028 掛川市亀の甲2-8-5

TEL 0537-22-0111 FAX 0537-25-2120

URL <http://www.krc2620.com/>

奉仕プロジェクトはロータリーの第一の標語です。奉仕プロジェクトは、この崇高な理念のもと、すべての人々が国や人種の隔てなく、平和で幸せな生活が送れるよう、奉仕することを目的とします。

その奉仕プロジェクトの中の職業奉仕はロータリー活動の基本であります。

職場訪問やクラブフォーラムを通じて、会員や訪問先企業の職業観を知り、職場や地域社で職業奉仕の理想の推進を考えます。

事例1 職場訪問



掛川ロータリークラブでは毎年職場訪問として、様々な業種の会社を訪ねさせて頂いております。今年はハウス食品静岡工場にお邪魔させていただきました。

ハウス食品からは様々な商品が販売されておりまして会員の方々も日頃からお世話になっており親しみのある会社でもあります。食品を扱っていますので、衛生面は徹底されておりました。また、工場内の設備でカレーなどの商品のそれぞれの具材を適量に分けて組み合わせるものには驚きました。TVCMや雑誌の広告等で普段目にする企業も、基本に忠実に日々の努力の上に成り立っているのだと実感した1日でした。帰る際にはお土産までいただきハウス食品ファンがまた増えたことと思います。

事例2 ロータリーサポート

掛川ロータリークラブでは毎年ボランティアグループ等地域社会に対して長年奉仕活動をされてきた団体の功績を称え感謝の意を込めて表彰させていただいております。

今年はずみれ会様を表彰させていただきました。すみれ会様は市内の葛ヶ丘地区在住の65歳以上の方々を対象としまして地域福祉高齢者食事を毎月第一木曜日に同地区の葛ヶ丘会館にて開催しておられ、今年で15年目180回を超えています。会の内容としましては、大勢で食事をしながらの情報交換や食後のゲームなどを通して皆が楽しく集う場所を提供しております。また当日来ることができなかった方には自宅までお弁当を配る配慮もされておりました。



袋井ロータリークラブ

委員長／内山 治

事務局／〒438-0016 磐田市岩井2280 磐田グランドホテル内
TEL 0537-24-9008 FAX 0537-24-9008
URL <http://www4.tokai.or.jp/rc-fukuroi/>

ロータリーの会員資格は、会員の職業に基づいており、地元地域社会の事業と専門職務の縮図をクラブで再現する。この独自の試みが長年に渡り、ロータリークラブが取り組んだ職業奉仕の原動力となっています。袋井ロータリークラブの現在を考えた時、節目となる30周年を終え、会員平均年齢が54歳という、他クラブにはない資質を有し、ベテランと若手が一体となって活動しています。40周年に向け更なる飛躍を目指し、「三本の矢」を放ちます。1職業倫理(責任) 2友好(公平) 3礼節(接客、誠意)今年は、東京の企業訪問と合わせて、東京RC例会に参加することを考えています。

事例1 袋井市周辺の企業訪問

中遠クリーンセンターや大和ハウス工業(株)中部工場などの企業訪問を実施しました。担当者の方から説明を受けたり見学させて頂くことで、今の社会情勢の中でその業界の流れが理解出来る。また、自社に置き換えて将来のビジョンを描くことに役立たせることが出来る。また、その先に仕事を通じて、社会にどのように奉仕が出来るか考えるきっかけとなる。



事例2 中学生(中学校)へのボランティア講師

ボランティア講師については、仕事や趣味を通じて培った知識や技術を地域の子供たちに知ってもらいたい。自分たちの実際に体験した、成功例や失敗談を交えながら、通常の授業では学べない社会で求められる「問題解決力」や「継続的な学習力」、「自ら考える力」を養う事の大切さを伝えていきたい。また、自分が今描いている将来図にどうしたら近づけていけるかなどや、将来にもっと、夢や希望を膨らませることの手助けになるような話しをしました。

■ 浜松ロータリークラブ

委員長／久野 幸太郎

事務局／〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1
TEL 053-454-2620 FAX 053-455-0262

本年度、RI会長田中作次氏は、近年の国際ロータリー内で失われつつ在る「職業奉仕」の理念を再度ロータリー活動の要としている。したがって、職業宣言の意味を理解する機会を例会で設け、また、職場見学会も企画して参りました。

事例1 二橋染工場



浜松が誇る伝統工芸である「注染染め」(ちゅうせんぞめ)の工場等を訪問しました。注染染めは、静岡県郷土工芸品にも指定されている大変貴重なものです。伝統工芸を通じて浜松の産業・文化への理解を深めることができる貴重な機会を得ました。

注染染め等の企画製造・卸を行なわれている白井正和社長から、注染染めの販売状況や今後の普及に向けた取組みについてご説明をいただきました。

事例2 ソーラーファームしのはら

いま話題の再生可能エネルギーに関する最新のテクノロジーや、浜松の産業・食文化への理解を深めることができる貴重な機会を得ました。

須山建設が建設し、本年3月末に完成した最新のメガソーラー施設を見学しました。この施設は、浜松市のメガソーラー発電事業の第一歩となる重要な位置付けの施設です。



■ 浜松西ロータリークラブ

委員長／鈴木 俊文

事務局／〒430-0946 浜松市中区元城町109-8 ホテルコンコルド浜松
TEL 053-457-1111 FAX 053-455-4614

ロータリーで云う職業奉仕とは何か？をテーマにロータリアンが共通の正しい認識を持てるように以下の活動を実施する

- ① 4つのテストを職業奉仕委員の音頭で唱和する
- ② 会員による職業に関するスピーチの企画実施
- ③ 外部講師による卓話
- ④ 優良事業所の見学
- ⑤ 職業フォーラムの実施 など

事例1 新東名高速道路建設現場見学

現場所長ナガイ様の案内により担当区間16.7kmをバスにて引佐JCTより浜北インターチェンジまで見学をしました。浜松トンネルは、全長3.2kmを熊谷組が施工し、1日45m(一日の切削距離最長記録)岩盤を掘り進んでいったそうです。袴田会長の搬送機器のお仕事がこのトンネル工事に一役かっているそうです。最近の道路はコンクリートが28cmの厚さでこの上に4cmのアスファルトを2層施工するそうです。1層目は、水を浸透しないもの、表面になる2層目は、浸透式のアスファルトが施されます。トンネルを抜けると、都田川を渡る橋、そして、真直ぐな道が続いていきます。浜北森林公園近くでは、ドーム型の鉄骨が出てきます。これはゴルフボールよけを目的とした物です。最後には、浜北インターチェンジの実験棟施設のトイレを使用させて頂き助かりました。



事例2 航空自衛隊浜松基地訪問



自衛隊バスにて浜松基地内へ広報担当鈴木様の案内により最新鋭戦闘機F-15を見学。自衛隊内食堂にて隊の昼食を体験。広報館を見学して職場訪問を終えました。

1. 陸上自衛隊

「外国の侵略を未然に防止するとともに、万一侵略があった場合に対処する」ことを中心的な役割とし、「大規模災害」や「国連平和維持活動参加」などさまざまな分野で任務を果たしています。

2. 海上自衛隊

海上自衛隊は、周辺海域での海上交通の安全を確保することを中心的な役割とし、災害時の物資の補給や艦船を利用した電源供給、国連平和維持活動でも燃料や人員の輸送などに活躍しています。

3. 航空自衛隊

航空自衛隊は、国民と国土の被害を未然に防ぐことを中心的な役割とし、災害発生時における捜索、救助などのほか、国際平和協力業務及び国際緊急援助活動時における航空機による人員や物資の輸送などを行っています。

■ 浜北ロータリークラブ

委員長／

事務局／〒434-0023 浜松市浜北区高園 381 ビラックス高園内
TEL 053-587-1212 FAX 053-587-0118

事例1 浜北ロータリークラブ職業奉仕活動について

浜北ロータリークラブの職業奉仕活動としての概念は会員一人一人が職業を通じて社会に貢献することを確認すると共に、クラブとしては地域社会の要請を受け入れ、またはクラブ員の職業を正しく理解するための活動として捉えています。そのための活動として

- 1、会員ならびにゲストとによる優れた実績を挙げている職業人の卓話
 - 2、会員ならびに地域の事業所の見学
- などを実践しており、毎年、職業奉仕担当が地元企業や、病院などを例会の一つとして見学しています。

浜名湖ロータリークラブ

委員長／近藤 武義

事務局／〒431-1424 浜松市北区三ヶ日町下尾奈200 浜名湖レークサイドプラザ内

TEL 053-524-1177 FAX 053-524-1177

URL <http://www.hamanako-rc.com>

<活動目標> 会員相互並びに地域企業の異業種交流の場として情報交換を行う。

<運営計画>

- ① 「職業宣言」「四つのテスト」―一月初めの例会に唱和する。
- ② 職業奉仕の卓話を実施。
- ③ 職場訪問：デンソー太陽様

職業奉仕は倫理問題であることは認識しているが、これまでは「職業奉仕」を掘り下げた活動ができていなかった。今年度は職業奉仕の卓話では、経験者をお呼びし「職業奉仕」に対する認識を深めたいと考えております。

事例1 職場訪問 自衛隊浜松基地

2010年10月19日の職場訪問例会では、航空自衛隊・浜松基地を訪問、自衛隊員と同じメニューの昼食をいただき、基地内の施設、飛行訓練を見学した。また自衛隊員の使命、日常の訓練、イラク派兵時のエピソード等興味深いお話をお聞きした。自衛隊員は特別職の国家公務員なので、国民の安全安心を守ることが使命であることは言うまでもないが、自衛隊員の半端ではない使命感はまさに利他業であると感じた。国家公務員には国家公務員倫理法があり、国民全体の奉仕者として、違反した場合は罰則規定もある。一方、ロータリアンの多くは会社経営者でありロータリーの職業奉仕は個々人の倫理感によるところが大きく、今後は職業倫理を学べる仕組みが必要だと思う



事例2 職場訪問 湖西金属工業協同組合、卓話



2012年10月2日の職場訪問例会では、湖西金属工業協同組合を訪問し、事務局長の嶋様より卓話をしていただいた。湖西金属工業協同組合は、金属加工を中心とした製造業の組合で、現在会員数は63社（総従業員数1760人）であり、各企業のお客様により良い製品を提供する為、組合員企業の社員の安全衛生と能力開発に特に力を入れて活動しているとのことであった。人を育てることで従業員のレベルを上げ、従業員のより豊かな生活に貢献するとともに、結果として会社の継続と反映につなげていくとのお話は、職業奉仕の考え方、倫理につながるもので、それらを組合として実施しているところが大変参考になる事例であった。

浜松中ロータリークラブ

委員長／河村 基夫

事務局／〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1
TEL 053-450-3003 FAX 053-450-3006
URL <http://www.habi.ne.jp/hnaka-rc/>

「職業奉仕」(Vocational Service)とは、会員がそれぞれの職業を通じて社会に奉仕することであり、他の団体にはみられないロータリークラブの最大の特徴です。

その一方で、「職業奉仕」は難しい/判りにくい、という意見が多いのも事実です。

「職業奉仕」に対する理解をより一層深めるためにも、基本に立ち返って「4つのテスト」「ロータリアンの職業宣言」の再確認及び実践に努めていこうと考えています。

事例1 外国人のための無料健康相談と検診会



浜松周辺では急速に外国人労働者の数が増加しましたが、多くの外国人が保険未加入の状態にあり、労働環境や言葉の壁から病院にかかることが難しい状況がありました。

そこで、外国人の健康のために検診会が必要であるとの機運が高まり、浜松周辺で外国人の相談援助に携わる「外国人労働者と共に生きる会・浜松(へるすの会)」をはじめとする関係団体が支援体制を組み、多くの医師・歯科医師・医療関係職・通訳などの協力で、1996年に浜松中ロータリークラブの創立10周年事業として第1回「外国人のための無料健康相談と検診会」を実施しました。

その後、事業継続のために運営団体として浜松外国人医療援助会(Medical Aid for Foreigners

in Hamamatsu 略称MAF)が発足し、少しずつ形を変えながら現在まで継続して活動が行われています。

事例2 「4つのテスト」「ロータリアンの職業宣言」のステッカー作成

「4つのテスト」および「ロータリアンの職業宣言」のステッカーを(印刷業を営む会員の協力で)作成し、配布しています。

冊子などの形式で配布しても埋もれてしまうことが多いのですが、ステッカーにすることで各自が目につく場所に貼っておくことができるため、日常的に内容を確認することができます。例会で「4つのテスト」を唱和する、といった活動と併せて、このような工夫を凝らすことで、会員の職業奉仕に対する理解をより一層深めるための取り組みを行っています。



■ 浜北伎倍ロータリークラブ

委員長／坪井 洋一郎

事務局／〒434-0023 静岡県浜松市浜北区高園381 ビラックス高園
TEL 053-586-8886 FAX 053-584-3322

本クラブの会員が職業関係における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における慣行の一般水準を引き上げるうえに役立つ指導と援助を与えるような方針を考案しこれを実施するものとする。

事例1

企業訪問

浜松ホトニクス豊岡工場GSEメンバーと一緒に見学

GSEメンバー5名と伎倍クラブ5名で豊岡の浜松ホトニクス工場に見学に行ってきました。説明の中で、光を電気信号に変換する真空管を製造していました。驚いたことは工場とは流れ作業通常であるが、ここはすべて手作業で人技でした。GSEリーダーの方から専門的な質問をしてかなり興味を持っていました。ここで研究開発して世界に発信している様子がありました。



■ 浜松ハーモニーロータリークラブ

委員長／岩澤 秀治

事務局／〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

TEL 053-413-1782 FAX 053-413-1781

URL <http://www.hhrc.jp/>

毎週の例会は、会員各自が高い倫理観を持って職業活動を行えるようお互いに育てあう場所です。異分野の人たちとの交流を通して自己の道徳的能力、専門的能力を高め、その成果を職場に持ち帰り、職場の人たちの能力向上に努め、又その成果を再び例会に持ち込むという繰り返しです。そのためのプログラムの立案が、職業奉仕委員会の大切な役目だと思います。この使命を達成すべく今年は、他の委員会とも協力して、①4つのテストの唱和、②外部講師の卓話、③優良事業所の見学、④職業フォーラムの実施を計画しています。

事例1 中学校講師派遣事業



漠然とした不安を抱きながら、自らの将来を、十分とはいえない知識や経験だけで決定しなければならない中学生を対象に、私たちが仕事や人生で培った知恵や勇気を役立てて欲しいという気持ちで始めた事業でした。多岐に渡る職種の会員が、職業を通しての経験と人柄をありのままに中学生にぶつけ、彼らに少しでも、将来への夢と希望をもってもらいたいと願い、会員全員参加の事業となりました。

1学年には、職業観を養ってもらう総論的な話を4名の講師が担当し、2学年には、専門職毎に各教室に分かれ、生徒は希望する教室に出向くという方法を企画しました。

事前に生徒からの質問を受け、事後には生徒からの感想文をもらい、講話内容と共に報告書を作成しました。

事例2 視覚障害者映画鑑賞事業

本事業は一般映画館に視覚障害者の方々をお招きし、副音声付きの映画鑑賞会を実施するものです。事業のきっかけは、クラブ内に映画館を経営する会員が在籍していたことでした。

視覚障害者の方々に映画を鑑賞して頂くには、映画の各場面を的確に解説する「副音声」が必須です。当クラブでは、この副音声を作成されている地元浜松のボランティア団体の皆様に、副音声データ作成用パソコンや副音声受信機を寄贈し支援を行なっています。

全国でも希少な事業として視覚障害者の皆様から感謝の声が届いています。



■ パワー浜松ロータリークラブ

委員長／熊谷 真一

事務局／〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラアクトシティホテル浜松内
TEL 053-452-0800 FAX 053-452-0800
URL <http://www.power-hamamatsurc.jp>

職業倫理を重んじ、生業を通じて人間関係を改善し実践倫理に基づいた中で、自己に優先する奉仕活動ができるよう事業を通して学んでいく事を基本方針とします。

事例1 会員企業訪問及び企業視察

会員企業の訪問を行い専門職務について説明をいただきました。

専門職務について会員の理解を得る事でその専門職務による奉仕の可能性について考える事ができました。又、会員企業だけでなく会員の取引先企業への視察も行う事でより広く専門職務の理解を得る事ができました。



事例2 緊急時の医療措置



医師会員による職業奉仕としてAEDの使い方実践を行いました。

世界的に異常気象、自然災害等が増える中で、心の中に緊急時の危機感を持っていただき、救命措置の方法を会員に覚えていただく事を目的に実践卓話を致しました。

AEDの取り扱いについて医療従事者でなくても誰でもできる事が体験することができました。

山梨第1~4分区

■ 甲府ロータリークラブ

委員長／田嶋 義明

事務局／〒400-0858 山梨県甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内
TEL 055-237-5475 FAX 055-231-1841
URL <http://www.kofu-rotary.gr.jp>

秋山会長方針の「学ぶ心・感謝の心・奉仕の心」を重ねた「ロータリーの心」を踏まえて、活動を実践する。自らの職業に誇りと責任をもってあたるとともに、職業を通じて、地域社会に貢献するとともに、自らの知識習得を心掛けた活動を行う。

事例1 高校への会員による派遣授業(卓話)の実施



2010年度から、会員による派遣授業を甲府南高校において、実施している。

これは、会員の属する業界の状況を報告することにより、高校生に職業に対する興味や将来の進路選択の参考にさせていただくとともに、人生の先輩として、職業を通じて社会に奉仕していくというロータリーの理念を後輩に伝えていこうという趣旨で実施している。昨年度は、1年生、2年生を対象にそれぞれ3人の会員講師が、金融、観光、メーカー、エネルギー等のそれぞれの専門分野について約1時間にわたり自らの職業体験を交えて熱弁を奮った。

事例2 職場訪問例会の実施

毎年恒例として、職場訪問例会を実施している。

卓話などの話を聞くだけでなく、職場(現場)に行き、直接見聞を広めることにより、新たな知識の習得と多様な職業を体験する有意義な活動である。

—昨年は、新装なった山梨県立宝石美術専門学校への訪問、昨年度は、新築移転したNHK甲府放送局を訪問した。甲府放送局では、新しい放送局の説明や実際のスタジオでカメラの前に立つ体験を行うなど最先端の放送技術を体験することができた。本年度は、甲州夢小路を訪問する予定である。



■ 笛吹ロータリークラブ

委員長／新谷 博

事務局／〒406-0031 笛吹市石和町市部522 風間建設(株)内3F

TEL 055-263-8584 FAX 055-263-8584

URL <http://www.9.ocn.ne.jp/~isawarc>

「職業奉仕」はロータリーの金看板といわれている。ロータリアンは「職業宣言」にのっとり行動し地域社会に貢献する。

- ・「四つのテスト」の唱和
- ・会員による職業に関するスピーチ
- ・外部講師による卓話
- ・事業所の見学

事例1 職場訪問 ケアガーデン風間

当クラブ風間会員が経営されている「ケアガーデン風間」を訪問しました。玄関を入ってすぐのメインホールで、奥様の雅子施設長から説明をしていただきました。

ショートステイの居室は、個室と4人部屋があり、清潔で木のぬくもりを感じることが出来る広々とした明るい雰囲気のお部屋でした。なんとお風呂は天然温泉でかけ流しです。お食事は、施設内の厨房で調理したオリジナルです。ちょうど食事が終わったところで、利用者の皆様がカラオケを楽しんでいました。



事例2 三世代交流事業「はなさかじいさん」



毎年4月に、笛吹市社会福祉協議会との共同で開催しています。子供と地域の大人が花を植える活動と一緒にすることで、世代を超えた交流をし、地域のつながりを深めることを目的としています。参加した一人ひとりの気持ちと同様に、今日植えられた花達も、子供たちの健やかな成長を見守り祈ってけるとと思います。

山梨ロータリークラブ

委員長／古屋 秀樹

事務局／〒405-0031 山梨市万力1830 山梨市民会館1F
TEL 0553-23-6661 FAX 0553-23-6662

【方針】

奉仕プロジェクト委員会は地域社会の安心・安全ならびに環境保護活動、国際奉仕に関する活動を山梨ロータリークラブ一体になって多岐にわたり展開し、地域社会に貢献していきます。

【計画】

- ① 職業奉仕月間(10月)の職場訪問実施
- ② 山梨市との災害時応援協定の継続実施
- ③ 「環境保全」に対するプロジェクトの実施
- ④ 「青少年教育への支援」に対するプロジェクトの実施
- ⑤ 職業・社会・国際各奉仕活動への積極的な参加

事例1 職場訪問



毎年、職業奉仕月間の10月に職場訪問を行います。訪問先はロータリーメンバーの会社であったり、東京スカイツリーであったり、その時々話題やメンバーの意向を踏まえ場所を選定しています。昨年度はメンバーのワイン会社を見学させて頂きました。近すぎて見えないものは多くあります。私達の交流もそうであり、大まかな職業は理解していても、その内容や環境に踏み込む機会はなかなかありません。こういった訪問を行うことで、メンバーの社会的な姿を垣間見ることができ、また、一般では見られない特別な場所やお話に触れる事もでき、交流の深まりと知識の深まりを得ることができる活動の一つです。

事例2 環境保全活動

秩父多摩甲斐国立公園の一角にある標高1,700mの乙女高原は全国でも有数の野草の宝庫です。春にはサクラスミレやツツジなどが一斉に花開き、100種類を越す花々が高原を彩ります。こうした高原の野草を守り、後世に伝えようと「乙女高原ファンクラブ」の呼び掛けで、様々な団体や、県外からのボランティアの皆さんと一緒に、毎年5月には遊歩道づくり、11月23日の勤労感謝の日には下草刈りを行います。かつてはスキー場だった所。その面積は760haにも及ぶといえます。約3時間程の作業後、広大な高原がその地肌を表すころには、ボランティア同士の一体感と、富士山を眺めがらの、日常とは違った勤労の汗を実感することができます。



塩山ロータリークラブ

委員長／小澤 顕

事務局／〒404-0037 甲州市塩山西広門田724-1
TEL 0553-33-5304 FAX 0553-33-5304
URL <http://www.kcnet.ne.jp/~ENZAN-RC>

職業奉仕の座右の銘である四つのテストを毎月1回は復唱する

会員による卓話を月1回実施する

年2回外部卓話を願う

優良事業所を訪問する(会員を含む)

地区大会の帰路、大手の会社の職場訪問を計画している

事例1 千畳敷カール見学と駒ヶ根養命酒工場職場訪問

この時の会長鶴田清彦君の出身は長野県駒ヶ根市生れであったため、会長の意向もあってご当地を選んだ。勿論日帰りバスツアーでした。午前中は駒ヶ根市と宮田村にまたがる中央アルプス宝剣岳の直下に広がる氷河地形(カール)を訪れ、夏は駒ヶ岳ロープウェイの千畳敷駅でおり多くの高山植物が咲きみだれ、冬は雪山の厳しさという両極端の姿を見せる。

午後から養命酒工場を見学 洗練された工場は、山あいの自然との調和のとれたすばらしい立地でした。



事例2 東京電力(株)葛野川揚水発電所職場訪問



葛野川(かすのがわ)発電所は、約8年の歳月をかけ1999年に完成した。これは東京電力の発電用ダムである。上部に上日川ダムを、下部に葛野川ダムとの間で水を往来させ、最大80万キロワットの電力を発生する。両ダム間の有効落差は700mあり世界最大規模である。写真はガールスカウト(昭和52年から援助)の子どもと共に揚水発電の仕組等の説明を受けている所。この発電所は我が塩山ロータリークラブがある甲州市大和町にある。

■ 甲府東ロータリークラブ

委員長／高野 嶺二

事務局／〒400-0858 甲府市相生2-2-17

TEL 055-237-5475 FAX 055-231-0680

URL <http://www.kokumon.co.jp/kofueast>

私達のクラブは甲府市内8クラブの内、5番目に設立されたクラブです。

今年は創立25周年を迎え、2014年5月には盛大に25周年式典を開く準備をしております。創立10周年頃は会員も60数名在籍しておりましたが、景気悪化等により、最近30名程に減少しております。

職業奉仕委員会も奉仕プロジェクト委員会の中に組み込まれ活動しております。職場見学については創立以来毎年何らかの施設や企業等を訪問して職場体験等奉仕及び研修に役立ててまいりました。

事例1

2010年10月 山梨県「西山温泉 慶雲館」



今回訪問した慶雲館は、山梨県にも世界最古のこんなに素晴らしい旅館があったと知り驚きと共に大いに自慢致したいと思います。慶雲館は、慶雲2年(西暦705年)に藤原鎌足の息子の藤原真人により開湯した温泉だそうです。約1300年の歴史を持ち世界最古の旅館としてギネスブックに登録されました。西山温泉は硫黄臭により昔から湯治場として知られた温泉です。2006年に日経ビジネスが日本の長寿企業を紹介し宮大工の「金剛組」(西暦578年創業)と共に世界最古の旅館として紹介されたことでした。慶雲館が長く続いた秘訣は「山奥に位置して競争がなかったこと」、

「52代の歴代当主が旅館業以外に手を出さなかったこと」だそうです。旅館のコンセプトは和風旅館にこだわり客単価が高くてもお客様に満足していただき、リピーターを大事にして地元のお客様を増やすことだそうです。

事例2

JR酒折駅前を清掃奉仕(毎年実施)

甲府東RCは甲府市の東部をエリアとして創立致しました。初代と2代の会長で古屋忠彦会員が学長をされている山梨学院の幼稚園から大学院迄の校舎群の近くに今回清掃奉仕する酒折駅があり、甲府東RCは毎年、早朝例会と共に清掃奉仕を山梨学院大学のローバー隊員等と行っております。「酒折」という地名は古く「古事記」「日本書紀」において「日本武尊」の東赴に関する酒折宮伝承が存在し「古代甲斐国」畿内主権との歴史的背景の可能性さえも指摘されております。酒折駅東方にある山崎三差路は甲州街道と青梅街道が交差する甲斐の古道(コドウ)という説からも、この地が交通の要所であったと思われます。クラブでは大型時計塔や近隣地区地図の看板など折に触れ寄贈してまいりました。



■ 甲府シティロータリークラブ

委員長／保坂 ひとみ

事務局／〒400-0805 甲府市相生2-2-17

TEL 055-237-5475 FAX 055-231-1841

URL <http://kofucity-rcj.com>

「改めて、ロータリーの職業奉仕を考え、理解し、実践する。」

- ・職業奉仕の意義を再確認し職業人として日々の仕事や生き方に役立てる。
- ・他業種を知り、学ぶ機会として職業に関する卓話や職場訪問例会を開催する。
- ・地域社会での奉仕プロジェクトに積極的に参加する。
- ・甲府シティRCとしての継続奉仕事業を検討する。
- ・会員のスキルアップを目指した例会を開催する。

事例1 よろず相談会

平成25年6月16日、例会変更し全会員参加による「よろず相談会」を開催した。午前10時から12時(相談受付時間)までの間、当クラブの会員が、13の項目に分かれ、市民及びロータリアンに対する無料の相談会を実施した。13の相談窓口は、生涯設計、不動産、リフォーム、住宅設計、住宅建築、土地トラブル、セキュリティ、樹木、宗教全般、環境問題、税務、法律、健康である。

2時間の受付時間内に一般8件9名、ロータリアン3件の相談者が訪れた。



無料相談会

事例2 山梨県立大学人間福祉学部 交流会



平成25年6月3日、山梨県立大学人間福祉学部の学生と交流会を開催した。これは、毎年恒例で山梨県立大学で哲学を学ぶ学生にロータリアン(職業人、経営者)という立場で各自が持つ人生経験などを通じ、講演し、学生との交流を図っている。今回は「生と幸福～人生の先輩に学ぶ～」と題し、2名のロータリアンが「生きるということ」「東日本大震災」のテーマで各自20～30分間の講演を行った。終了後、全学生からの感想や意見などのレポートの提出があった。

本プログラムは、単なる職業人としてのガイダンスではなく、「哲学」の講座の一つとして例年開催している

■ 甲斐ロータリークラブ

委員長／佐野 一広

事務局／〒400-0858 甲府市相生2丁目2-17 甲府商工会議所内
TEL 055-237-5475 FAX 055-231-1841

『会員内の職場訪問を実施し、会員相互の異業種理解と親睦を深める』

具体的には 毎年会員の所属する会社(職場)を訪問して、職場見学と意見交換を行い異業種を尊重理解し合い、職業人としての見識を深める。

事例1 県議会議事堂

昨年12月3日に633回例会を山梨県議事堂で移動例会として実施しました。

例会内容は 当クラブの会員で県議会議員がおりその職場訪問(職業分類は観光業)ですが普段見学のできない場所を訪問させて頂き又、議会の仕組み等の説明を受け県議会への理解と見識を深める事が出来ました。

この県議会議事堂は昭和3年に建てられ歴史ある建物で山梨県の重要文化財に指定されております。

写真の説明をしますと 得意げに議長席に座っているのは昨年度当クラブの会長です、上段右は昨年度山梨第一分区のガバナー補佐です。



■ 甲府南ロータリークラブ

委員長／小林 成光

事務局／〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所内
TEL 055-237-5475 FAX 055-231-1841
URL <http://www.kofu-goudou-rc.gr.jp/minami/>

職業奉仕はロータリー活動を行う上で最も重要で基本と考えます。しかし、職業奉仕はロータリー活動として形にするのは非常に難しく、解らないということを聞きます。本年度は、ロータリー的な職業奉仕事業の理解を深める活動を重点事項と考え、次の四つの事業を実践します。

①四つのテストと職業宣言を周知徹底する。②10月の職業奉仕月間に例会を担当し、会員にPRと理解を求める。③職場訪問例会を年一回実施する。④会報への職業宣言記載により周知を図る。

事例1 甲斐善光寺 訪問例会



2012年10月9日(火)は、当クラブの吉原知仙会員が副住職を勤める「甲斐善光寺」を訪問する職場訪問例会を実施しました。境内にある檀信徒会館に集合して、例会を開催。その後、吉原副住職の法話をいただき、金堂等を拝観しました。甲斐善光寺は開基武田信玄公が、川中島の合戦の折、信濃善光寺の焼失を恐れ、永禄元年(1558)、御本尊善光寺如来像をはじめ、諸仏寺宝類を奉遷したことに始まることでした。

甲斐善光寺の墓地には、当クラブの元会員や会員のご家族の墓もありますので、墓参をした会員もあり、有意義な職場訪問例会となりました。

事例2 マルエス・フリージング 訪問例会

2013年4月16日(火)2回目の職場訪問例会は、市川三郷町にある株式会社マルエス・フリージング・ジャンクションにお邪魔しました。会社概要について説明をいただき、例会後に2班に分かれて施設を見学しました。冷蔵・冷凍庫を中心に1,070坪もの倉庫を持つ運送会社であり、山梨には他に類を見ないとのこと、会社の活況が強く感じられました。業務の性格上、交通安全を中心とした安全管理に非常に力を入れており、社員一人一人の安全管理の品質が会社の品質となり、お客様の信用となって、取引が継続的に発展していく。様々な業種のお客様から預かった膨大な量の商品を、徹底した温度管理のもと搬入・搬出する管理システムを勉強させて頂きました。



市川大門ロータリークラブ

委員長／

事務局／〒409-3603 西八代郡市川三郷町黒沢692-1

TEL 055-272-4414 FAX 055-272-4414

- ① 四つのテストを例会場に掲げる
- ② 職業奉仕のフォーラムを実施
- ③ 職場訪問の実施
- ④ 会員の職業スピーチ
- ⑤ 平成25年10月12日に実施される地区の職業奉仕セミナーに参加する。

事例1 2010年9月29日 職場見学と味の体験

私達の町市川三郷町の隣町、富士川町の山間にある「つくだべかん」の職場見学と、そば打ち体験を実施しました。

「つくだべかん」とは、「つくって」「たべて」「かんじて」ほしい事を看板としております。食材も自然が与えてくれた山の恵みをふんだんに使い、急峻な奥山で育まれた此処でしか味えない郷土料理です。

4名づつ4班に分かれ、地元のおばさんの説明を聞き、各自慣れない手つきで、そば打ちに挑戦しました。切り方も各班とも細切や太切とまちまちではありましたが全員で、美味しい貴重な体験をしました。



事例2 2011年7月 「四つのテスト」職場に掲示



ロータリーの綱領は、入会と同時に理解し、実施しなければならない事です。それと同時に、「四つのテスト」は、高度の道徳的水準の向上を図り、それを維持することでなければならないと記してあります。職業人の集まりでもあるクラブの会員は、つねに「四つのテスト」を頭の中におき、行動するために、職業委員会でB4サイズの額入れを作り全員の職場や事務所にこれを掲げ、自分だけでなく多くの人々にも、これを理解していただき、この文言の一つでもより多くの皆さんが行動してもらえたら、この世も変わることを望み実施しました。

身延ロータリークラブ

委員長／田中 一史

事務局／〒409-2403 南巨摩郡身延町帯金2511-1
TEL 0556-62-1610 FAX 0556-62-1610

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」を理解すると共に笠井会長の方針に従い、職業を通して社会に奉仕する実を前進させたい。

- ① 会員・会員外による職業生活についての卓話をいただく。
- ② 四つのテストの活用を推進すると共に第1週例会で四つのテストを唱和する。
- ③ 職場見学を実施し、職場体験や実践を学ぶ。

事例1 2012年9月21日 「通所リハビリステーション」見学



佐野整形外科医院、通所リハビリステーションで医師、看護師達の見守る中、一生懸命に又楽しげにリハビリに励む高齢者達の姿に感動した。医師・看護師達の種々の改善、努力のバックアップ。(通所リハビリステーションとは)介護保険制度で受けられる制度です。リハビリ専門の担当者と共に在宅で生活の要支援。要介護者の方々が明るく楽しく生き生きと自立した生活を送れるように支援する施設。(1)外出する事で気分転換及び精神活動の低下を防ぐ。(2)リハビリを中心とした自立支援(いつまでも自分のことは自分で出来るように運動機能を維持する)

事例2 2012年10月11日 「ゴミ・廃油のリサイクル事業」の見学

峡南衛生組合、所長・従業員達のゴミ・廃油をリサイクルした商品開発への意気込みを体感した。【主要商品】

- (1)EM活性液…廃油より生成、ゴミの消臭、ハエ・ゴキブリの忌避に活躍。農作物や花にも元気を与える。
 - (2)アークサンド…焼却炉をリサイクルした人口砂、コンテナごと県外へ搬出されアークサンドとして活用される。
 - (3)峡南1号スペシャル(醗酵肥料)…食品廃棄物処理施設にてリンが豊富な脱水汚泥と食品残渣をブレンドして醗酵肥料ペレットくんに生まれかわる。
- (1)(3)を併用すると土の力がより強まり病害虫への抵抗が育つ。立派な野菜が育てられる。



甲府西ロータリークラブ

委員長／中込 茂

事務局／〒400-0858 甲府市相生2-2-17

TEL 055-237-5475 FAX 055-231-1841

URL <http://www.kofu-goudou-rc.gr.jp/nishi/>

今期の会長のテーマ「情熱をもって楽しもうロータリーを」このテーマを職業奉仕の観点から考えると、「世の中の人のために奉仕する心を持って職業を営み、そしてロータリーの例会に出席してロータリーを楽しむ。」このように考えています。各会員が例会に出席する中で自分の職業について話、互いの職業について学びあい、社会に奉仕する機会として会員各自の職業を通じて最良の奉仕をすること。を活動の基本としていきます。

自らが経営している会社が儲けるためにだけ経営をしているという考えを捨て、顧客満足度を最優先しつつ、自らの職業を通じてお客様に奉仕するという考え方で事業を営めば、その真摯な態度が顧客の心をとらえて、リピーターとして何度も事業所を訪れたり、新規の顧客を紹介していただけるはず。その結果、会社が儲かり会社の経営が発展していきます。このような会社は結果として高い倫理観を持って会社経営をしていくはず。職業奉仕は職業倫理を高揚することではなく、職業奉仕の実践が結果として、高い職業倫理につながっていきます。

下記実施計画をもとに活動をしていきたいと思っております。

- 1.例会で各会員が自分の職業について話、互いの職業について学びあう
- 1.職場訪問を実施して見聞を広める
- 1.職業奉仕の理解を深めるために関連した卓話の計画をする。

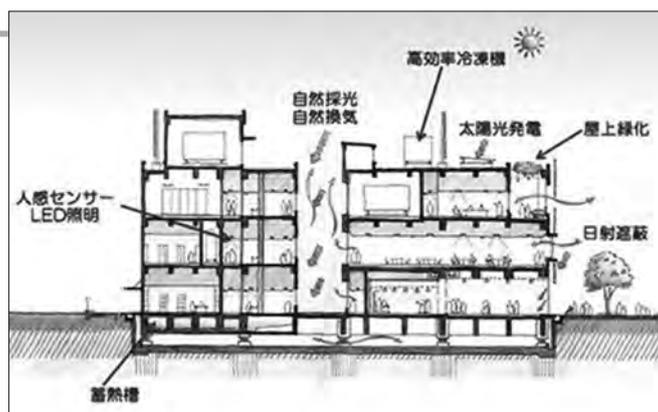
事例1 職場訪問例会

2012年11月8日の例会は甲府市北口にあります「NHK甲府新放送会館」に訪問いたしました。NHK甲府放送局は昭和40年に甲府市飯田町に建設されました。その後47年間、設備、建物の老朽化などで、業務の効率が悪化してきました。また放送技術の進歩、地上デジタル放送への対応、地域の公共放送としての役割「視聴者とのふれあいの重要性」を考え、人が集まる甲府駅前に会館を移転整備したそうです。

局長の柳田様から説明を受けた後2班に分かれ放送スタジオや制作室を見学し、最新の放送技術に感動しました。中でも地上84mのアンテナ塔や建物の免震構造などは圧巻でした。さらに環境に配慮をしたECOの会館になっているそうです。

また、スタジオでの記念撮影は訪問例会のよき思い出となりました。

最後に地域に開かれたNHKの役割を知ることができ勉強になりました。



事例2

甲府西ロータリークラブでは職業奉仕活動として各会員に「企業人として」と題して内部卓話を実施しております。2012～2013年度では12名の会員に卓話をしていただきました。

この方針は会員各自の職業について話をさせていただく事で会員の職業に対する知識や経験について学び、もっと会員自身を知っていただく機会を作ろうとのことからはじまりました。いわば「自己PR」ともいえる卓話です。

「企業はその時代に適応してこそ繁栄する」時代の変化とともに新たに取り入れた企業方針、技術などを発信していただき「お互いの仕事に役立つこと」に繋がり、倫理観なども更に高めていくことになると思います。

今後も「企業人として」の卓話を通じて会員のコミュニケーションをさらに深め、職業上のネットワークを築き、甲府西ロータリークラブをさらに活性化していきたいと思っております。

■ 甲府北ロータリークラブ

委員長／赤岡 利行

事務局／〒400-0858 甲府市相生2丁目2-17 甲府商工会議所内
TEL 055-237-5475 FAX 055-231-1841

ロータリーの基本である職業奉仕は当クラブにおいても最重要委員会と位置づけ職業奉仕に対する理解を深める事業を計画・実践しております。

特に職場訪問は各種の職業が地域社会に於いてどのように貢献しているかを見学し、又その職場を実際に体験してもらうことにより自己啓発のきっかけとなり各人の職業奉仕を高める機会作りをしています。

会員卓話や外部講師による卓話を積極的に行い常に職業奉仕を各人の職業に生かすと同時にロータリー倫理の向上を支援しています。そして各職場において四つのテストの活用するようあらゆる機会を通じて啓蒙しております。

事例1 新潟県中部電力火力発電所職場訪問



上越火力発電所は平成19年3月に着工、平成24年度に初号機が営業運転を開始、平成26年度に総合運転を予定しているとの事。燃料にはLNG(液化天然ガス)を使用し、ガスタービン2台と蒸気タービン1台を組み合わせ発電する「多軸式コンバインドサイクル発電方式」を採用し、2系列全4ブロックで構成されています。1.2号系列合わせた出力は238万kwで長野県のピーク時の電力およそ8割にあたる発電能力になるそうです。熱効率は国内最高水準となる設計値58%以上を達成しCo2排出量は年間160万トン程度削減される見込みとの事。説明の後実際に電力が発電されている様子を見学。コンパクトサイクルの発電の仕組み、

LNG(液化天然ガス)の供給方法・排煙脱硝装置・総合排水処理装置・フレアスタック燃焼装置等他。

東日本大震災以降日本の電力事情が大変厳しい中、我々の生活に欠かせない最新の火力発電所を見学することにより電力の重要性と節電意識の再確認をすることに大いに役立ちました。

事例2 重粒子線照射施設訪問

前橋市の群馬大学医学部を訪問し、キャッチフレーズ「切らずに治すがん治療・伊香保温泉で休養しながら」の治療の講義うけ、施設の見学を行いました。

講師はアメリカより帰国したばかりの中野教授で、死亡原因第1位、国民の悲願であるがん撲滅社会の切り札「重粒子線がん治療」について講義をいただきました。重粒子線治療とは、重粒子(炭素イオン)を最大で、光の約70%のスピードに加速、体の外から照射し深部のがん細胞を殺すのでメスを使うことなく痛みを伴わずに、体内のがんを治療する技術だそうです。

講義につづいて照射施設へ全員ヘルメットに軍手姿で中野教授ほか病院関係者の方に案内をしていただきました。外部の人が施設に入るのは、我々メンバーが初めてとのことと大学側の好意を感じました。



山梨中央ロータリークラブ

委員長／遠藤 一郎

事務局／〒409-3812 中央市乙黒158-2

TEL 055-273-5344 FAX 055-273-8010

URL <http://yamachuo-rc.net/>

- ① 職業奉仕月間(10月)に地域企業や会員企業を訪問して、推奨される企業及び企業人を表彰し、表彰状・賞品等を贈り地域のロータリークラブを知ってもらう。
- ② 「四つのテスト」を広くクラブ外にも広めて行く方針をとる。
従て会員全員の企業・家庭に「四つのテスト」の印刷物を配布して、ロータリー倫理を高める。
- ③ ロータリアン自身の職業について、青少年に機会を作り、職場訪問の受入れ、地域社会の生活向上に努めること。

事例1 地域の「洋らん園」を職場訪問して

10月は職業奉仕月間でありましたが、GSE受入についての打合せ、「第24回ふるさとを描く子ども絵画展」準備等で職場訪問に日程が取れず、最終的に12月14日に「石原洋らん園」に決まり、実行致しました。「石原洋らん園」様も丁度12月～1月の出荷でお忙しい時でしたが石原社長様が洋らんについて、「母の日」「クリスマス」「入学祝」「誕生日」等の時期に合わせる苦勞など説明してくださり、有益な仕事を見せて頂きました。(有)石原洋らん園様に感謝状の贈呈と記念品をお渡しして、職場訪問を終了しました。



■ 甲府城北ロータリークラブ

委員長／田中 徳夫

事務局／〒400-0858 甲府市相生2丁目2-17 甲府商工会議所館内
TEL 055-237-5475 FAX 055-231-1841
URL <http://www.kofujohoku-rc.com/>

職業奉仕の対する会員の理解を深める。

会員が互いに事業、および専門職務の道徳的水準を高め、活動に職業奉仕の理念を生かして行く。

事例1 やまなし国文際事業「竹藪郷」企画への参加 会員名:田中徳夫

2013年は国民文化祭が山梨で展開されている。竹を組み上げ組み込んで藪の形にする。全体に笹の葉っぱを編み込み竹藪が完成する。出来上がった竹藪の中にテーブルを持ち込めばカフェにもなる。

大人数が立って入れるものから小さなものまで、様々な大きさで組み立てられる。小中学生のワークショップやあそび小屋的な発想もいいたろう。当クラブでは制作時、竹の切断、竹割り、制作最初の形づくりでのサポート、安全面のサポートを実施しています。

青少年の健全育成はロータリー精神の社会奉仕であると考えています。機会があればその都度支援できるようにしています。



事例2 筋整流法「古式腱引き」 会員名:伊藤喜章



筋整流法「古式腱引き」は古来より伝承された腱引きの技を理論的に解明し、筋肉、腱(筋)を調整することにより、快適な体調とすることができる施術(技)方法です。特にぎっくり腰、捻挫、頭痛などは一撃改善といわれ、慢性の腰痛や膝などの痛みに関しては驚異的な改善をみます。その腱引きの技を用いて山梨甲府道場を開設しています。

施術者の利益ばかりを優先することなく、たとえば中学生以下は無料で施術を受けられますし(保護者同伴)、通常でも二回目の施術は効果の確認のため無料で行っています。また長期に亘る場合は特別な料金で対応させて頂いています。

富士吉田ロータリークラブ

委員長／渡辺 松氏

事務局／〒403-0004 富士吉田市下吉田5-1-7 サトービル3F

TEL 0555-24-5544 FAX 0555-24-8744

URL <http://www.fujigoko.co.jp/rotary/yoshida/>

職業奉仕とは、自己の職業を通じて、その道徳的な倫理観を高め、社会に奉仕することと思います。すべてのロータリークラブの奉仕活動の基礎となるものです。

職業奉仕担当としては、会員の皆様に「職業奉仕」の理念を理解し、実践して頂けるように努力する所存です。

事例1 陸上自衛隊北富士駐屯地への職場見学会

我々、富士吉田ロータリークラブでは、職業奉仕活動の一環として陸上自衛隊北富士駐屯地へ職場見学会にお伺いしました。隊員の方々から駐屯地内の施設を説明して戴いたり、自衛隊組織のお話を聞くことが出来ました。また東日本大震災へ現地の復旧作業へもこちらの駐屯地から隊員が参加されたとのことで大変興味深くお話しを伺うことが出来ました。普段は直接的にあまりご縁がない職場ではありますが、隊員の方々は皆、話し方がハキハキとしていたところがとても印象的でした。



大月ロータリークラブ

委員長／小林 脩一

事務局／〒401-0013 大月市大月1-16-28
TEL 0554-22-6326

嘗て50名に至らんとする陣容を誇っておりました我がクラブも近年デフレスパイラルに伴う地域社会の不活性化により、会員減少の一途をたどって来ました。現在18名とクラブを維持して行くことに最低限クラブ運営のエネルギーを費やさざるを得ない状態に至っております。思い興すとバブルがはじけ我が国経済の衰退期入り、我が地区に於いても退会会員が多数発生し始めた十数年前、時のガバナーが「今こそ会員相互が情報交換して相互に援助し、足腰を強固にて地区を発展して行きたい」と提唱されました。

今特に我がクラブに必要なことはこの精神が強く求められます。

「倫理と経済」の実施、会員卓話「我が職業を語る」を中心にして会員会社の活性化を計って行く所存です。

事例1 2013年7月8日 職業奉仕卓話



クラブ職業奉仕活動のメインテーマとして会員相互の職業情報を活性化して、会員同士がコラボレートする気運を醸成できれば、クラブの活性化に連なるであると、この卓話を行いました(7月8日)。

生産会社にてエンジニアとして勤務した経験を披露、研究者として後に生産工場の管理者として独立してからその経験が有効であった事情に就いて語りました。

経験者として軌道に乗って来た1990年代大月ロータリークラブに入会しました。

其の後失われた20年後地域社会の衰退に伴い、現在クラブには入会当時の勢いは全くなく、クラブ存亡の危機に立たされております。そのような時こそ会員相互に情報交換して足腰を強くして乗り切ろうと申しました。

4つのテストの原点はビジネスにあり…商取引の事実:取引先の公平さ・信用を高め取り引き先を増やす・取り引き先が適当な利潤を得る…その原点に就いて意見を開陳しました。



事例2 2013年6月1日 クラブ創立50周年記念式典記念講演

去る6月1日クラブ創立50周年記念式典を挙行了しました。式典中のメインイベントである記念講演が職業奉仕上、非常に示唆に富むものでした。講師は当地出身にて京王プラザホテル株式会社代表取締役役志村康洋氏です。同社は戦前からの上場私鉄会社として今日まで着実に発展を遂げて来た企業です。我々ロータリークラブ会員企業としてもその講演内容が示唆に富む内容であると認識しております。

その進取的行動とは

1. 東日本私鉄にて2番目に自動改札機を導入
1. 週休2日体制に向かって鉄道業としてむずかしい人事管理の確立
1. バジェットホテルを他社に先がけて2桁数立ち上げる
(都心のビジネス用簡易ホテル)
1. 新しい改革を常に考える
新規事業に対しては個性的且つ柔軟に、考えて考えて考え抜く
1. お客様もよろこびは常に自分のよろこびとする

クラブ会員18名 会員夫人8名 事務局1名の陣容にて約160名の大式典を盛大裏に終了することができました。

都留ロータリークラブ

委員長／滝本 敏勝

事務局／〒402-0053 都留市上谷2-5-25

TEL 0554-45-7647 FAX 0554-43-3999

URL <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/tururotary/>

職業奉仕はロータリー独自の基本理念です。理念に基づき職業奉仕を実践し、道德水準高め、社会に貢献します。

その具体的な活動として、毎月初めの例会で四つのテスト唱和(ロータリーソング)を行います。職業奉仕月間では勉強会の実施、職業に関する卓話を会員や外部にお願いする。新会員には職業訓「礎」の額を贈り職場への掲示をする。地域内外の職場を見学、それぞれの会社の職業奉仕の理念を学び取ります。

事例1 新入会員に「礎」の額贈呈



「嘉祚日延」(かそひにのぶ) 仏教用語で、「人に喜びを与えれば自分の生きる日が延びる」ということから、「自分の職業に愛情を持って向かえば必ず成功、幸せな人生が送れる」という職業奉仕の思いを込めて第5代佐藤会長(仏教)の筆による額。創業記念日を祝して、クラブ入会と同時に職業奉仕委員会より贈られている。30年以上も続いているクラブ自慢の行事。贈られた会員はそれぞれの事業所の中に飾り、この言葉の持つ意味を日々心に問いかけながら、職業奉仕に専念するようというもの。

事例2 職業研修親睦旅行

毎年、職業奉仕と親睦委員会合同の職業研修親睦旅行を実施成果を上げている。単に旅行だけと異なり、会員にとって異業種からの職業訓が得られている。昨年は、日本航空羽田整備工場を見学しに30人の会員が参加した。華やかな航空産業の裏側をささえている現場は厳しさそのも、安全、快適さのサービスを提供するために支える人たちの絶え間ない努力を目の当たりにし裏方の大切さを体感した。今年は、坂口会員の関連会社で、シャッター業界トップクラスの文化シャッター小山工場の見学研修会を実施、20人が参加した。日光東照宮参拝のあと、最新の工場内を見学、規模の大きさと同時に工場全体で取り組む地域社会への貢献が大変印象的でロータリアンも参考の要あり



河口湖ロータリークラブ

委員長／三浦 まゆみ

事務局／〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津1
TEL 0555-72-2209 FAX 0555-24-7670

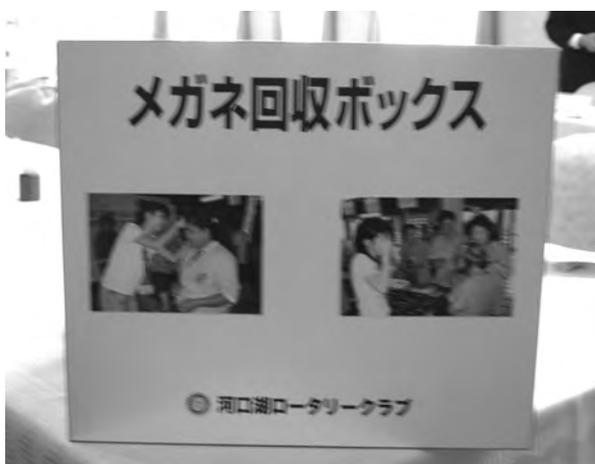
- ① 富士山世界文化遺産登録後の美化運動やサポート事業への協力と実施。
- ② 外部卓話や会員卓話での職業奉仕の意識や向上を高める。
- ③ 他地区ロータリークラブへの訪問や事業所への職場訪問などで職業奉仕の実践を学ぶ。
- ④ 会長方針やクラブ方針等にプロジェクトのサポートをする。
- ⑤ 会員それぞれの職業を生かした奉仕プロジェクトを積極的に取り入れる。

事例1 タイ国へ放置自転車贈呈事業

第1回 せせらぎ三島RCとの共同事業でタイ国のバンコク・スリウォンRCを窓口、2010年11月20日～24日の日程で訪問団7名がタイでの贈呈式に参加。ムナートチャルーン県の小中学校へ450台の中古自転車を贈呈。
第2回 2011年11月に訪問予定だったが、タイ国の洪水のために訪問を中止、せせらぎ三島RC代表のみ訪問。ウボンラチャタニ県の小中学校へ450台贈呈。



事例2 不要メガネ回収とタイ国への寄付事業



当クラブ中村初男会員のボランティアへの協力。2008年度より回収ボックスを町内各施設に定期的に設置し、不要メガネを回収。中村会員によってメンテナンスをしたメガネを毎年タイ国に持参し寄付をする活動に協力。

富士吉田西ロータリークラブ

委員長／

事務局／〒403-0005 富士吉田市上吉田1-6-3 (株)富士情報内
TEL 0555-22-2111 FAX 0555-24-1742

事例1 2005～6年度実施 「富士山再発見の道」として遊歩道復旧



富士山吉田口登山道は、富士スバルラインが開通して登山者が途絶えていたが、世界遺産登録の気運が高まった時期、文化庁の「歴史の道」に指定され行政による整備が行われた。

しかし、戦前・戦後に地域の子供たちが歩いて登山したバス道は、国有地を含む1.4kmの間が立ち入り禁止となっていた。

ここに遊歩道を開き上部と接続させるため、林野庁の山梨県森林管理事務所との交渉、富士吉田市への要請、幾つもの許認可申請を経て、大量の不法投棄の除去と、遊歩道として整備することによって登山ルートとして復旧できた。併せて案内板の建植を実施。

事例2 2008～9年度実施 富士山吉田口遊歩道と遺跡を守る活動

文化庁指定の「歴史の道」は「中の茶屋」までは自動車道、その先「馬返」までは登山道となっていて、それと並行する遊歩道が「北口本宮富士浅間神社」から「馬返」まで通じている。

2年前当クラブが提唱し、この遊歩道の導入部を国から市へ貸し与えてもらい、不法投棄物の撤収と美化活動で開通させ、さらに登山案内板を建植して以来、年2回の清掃・整備作業を実施してきた。(事例1による)

今回は会員の協力を得て、遊歩道の終着点となっている「馬返」地点の美化清掃作業と共に、富士登山史における地名の由来・復元された遺跡の説明を四か国語で行うための案内板を建植した。



2013～2014年度 国際ロータリー第2620地区

職業奉仕活動 事例集



2013年10月

2013～2014年度 国際ロータリー第2620地区
職業奉仕委員会

2013～2014年度 国際ロータリー第2620地区
ガバナー事務所

〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 安藤ビル5階
TEL 054-253-2620/FAX 054-255-2621